

平成22年度

事業実績報告書

社会福祉法人 富士厚生会

平成22年度

事業実績報告書

社会福祉法人 富士厚生会

本 部

社会福祉法人富士厚生会本部・平成22年度事業報告書（案）

1 22年度報告の概要

国の経済が停滞する中で、地域社会において、適正かつ活力のある経営に努めなければならない。又国の推し薦める規制緩和の中、特別養護老人ホームの民間企業参入を視野に入れた、法人経営を今後取り組まなくてはならない。

本年度の施設整備については、「特別養護老人松野の里」「地域交流センターみんなの家」が終了し、無事、計画が達成致しました。又新規事業「包括支援センター」も4月開始予定であり、総合的な支援事業に取り組む事となる。

又、3月に発生した東日本大震災、並びに富士山南側地震の経験により、利用者を初め、一人一人の生命と安全の大切さを再確認し、今後の非常防災に活かしたい。

2 役員会の運営等

(1) 理事会・評議員会の開催

次のとおり理事会・評議員会を開催し、議題について審議を受け、可決された。
(審議過程及び審議結果は議事録のとおり)

○ 第1回 平成22年 5月26日（水）：早川町総合福祉センター長寿苑にて開催

議題（1）平成21年度事業実績報告並びに決算報告について

（2）評議員選任について

（3）施設長選任について

（4）施設整備について

・早川町地域密着型特別養護老人ホーム
（草塩おんせん）

・富士市地域密着型特別養護ホーム
（シャローム富士川サテライト）

・三和荘スプリンクラー施設整備完了報告

（5）シャローム富士川サテライト施設整備に伴う（独）福祉医療機構借入について

（6）規程改定について

（7）指導監査是正改善計画について

○ 第2回 平成22年8月5日（木）：シャローム富士川会議室にて開催

議題（1）シャローム富士川サテライト施設整備について

（2）早川町地域密着型施設整備経過報告

（3）主要地方道富士白糸滝公園線下水道管移設工事について

（4）くぬぎの里空調機取り付け工事に係る移行時特別積立金の取り崩しについて

（5）介護職員処遇改善交付金のキャリアパスに伴う規程整備について

- 第3回 平成 22 年 10 月 26 日 (火) : 草塩おんせん会議室にて開催
 議題 (1) 施設整備について
 - 1 (仮) シャローム富士川サテライト施設整備について
 (経過説明)
 - 2 早川町地域密着型施設整備 (公告申請書棟等) について
 - 3 富士市包括支援センター及び認知症対応型通所介護施設事業者
 公募について
 (2) 施設整備借入金について
 (3) 補正予算について
- 第4回 平成 23 年 2 月 25 日 (金) : 三和荘多目的ホールにて開催
 議題 (1) 施設整備について
 - 1 富士市西部地域包括支援センター
 - 2 松野の里・みんなの家
 - 3 草塩おんせん
 (2) 補正予算について
 (3) 生活訓練ホームそよかぜの補助金に係る財産処分について
 (4) 規程改定について
 (5) 指導監査是正改善報告について
- 第5回 平成 23 年 3 月 18 日 (金) : 三和荘多目的ホールにて開催
 議題 (1) 平成 22 年度補正予算について
 (2) 平成 23 年度事業計画並びに予算について
 (3) 施設整備について
 - ・松野の里完了報告
 - ・早川町草塩おんせん施設整備報告
 (4) 定款変更並びにそれに伴う事務手続きの現況と見通し
 (5) 規程改定について
 - ・経理規程
 - ・給与規程
 - ・就業規則
 (6) 日常の軽易な業務報告について

3 監査の実施

(1) 監事による監査の実施

次のとおり監事による監査を受け、監査結果について、平成 22 年 5 月 26 日開催の理事会、評議員会において、監事から報告された。

- 平成 22 年 5 月 21 日 (金) 本部にて次のとおり監査を受けた。

内容 = 「平成 21 年度業務の執行状況」につき、渡辺 匡監事による監査。
 「平成 21 年度事業決算の状況」につき、篠原 均監事による監査。

(2) 行政等による指導監査

下記のとおり監査を受け、是正改善すべき指導事項及び指導に基づく是正改善をした。社会福祉法における監査結果については、平成23年2月25日開催の理事会、評議員会に承諾を得たうえで、担当行政機関へ提出した。

	日時	所轄機関	対象施設
社会福祉法	22.12	山梨県	ネオライフとみざわ（書面）
	22.12.25	山梨県	ネオライフとみざわ・菜の花の里
	23.1.13	静岡県	くぬぎの里・きぼうの里
	23.1.13	静岡県	なかざと・長生園（書面）
	23.1.14	静岡県	富士宮荘・三和荘・シャローム富士川
介護保険法	23.2.23	静岡県	シャローム富士川
	23.3.2	静岡県	富士宮荘
障害者自立支援法	22.12.13	静岡県	三和荘
	22.12.17	静岡県	きぼうの里
	22.12.20	静岡県	くぬぎの里
情報開示	22.8.13	静岡県	富士宮荘
	22.8.27	山梨県	ネオライフとみざわ
	23.2.15	静岡県	シャローム富士川
	23.2.16	静岡県	なかざと

(3) 内部監査の自主実施

監事による定期監査の中間時点において、法人本部職員による自主監査を実施した。

○ 平成22年7月13日～平成22年8月19日

対象施設＝全8施設

監査担当＝統括本部長・副本部長・事務部長等。

内 容＝介護・支援処遇関係、経理関係、預り金、栄養士関係、防災の

執行状況及び処理状況

4 施設整備に係る事業実績

施設整備にかかる事業

施設整備完了報告

- {1} 富士市「特別養護老人ホーム松野の里」富士市委託事業「地域交流センターみんなの家」整備

平成22年度富士市補助金交付対象事業として、富士市南松野地区へ「地域密着型特別養護老人ホーム松野の里」及び富士市委託事業「地域交流センターみんなの家」の整備事業を行ってきたが、平成23年2月28日に完工し、静岡県の特養老人ホームの設置認可を平成23年3月29日、富士市の介護保険事業者指定を平成23年3月23日に受け、地域密着型特別養護老人ホームとして4月1日より、運営を開始する。

(1) 土地

- ア 所在地=富士市南松野2604-1
イ 面積=2,357.91㎡(714.5坪)

(2) 建物

- ア 構造=耐火構造/鉄骨造亜鉛メッキ銅板ぶき2階建
イ 延床面積=1,708.13㎡
特別養護老人ホーム松野の里=1,428.81㎡
地域交流センターみんなの家=279.32㎡

(3) 運営事業

- ア 地域密着型特別養護老人ホーム(入所棟3ユニット・入所定員29人)
イ 富士市委託事業共生型地域交流センター(利用者は富士市民)

(4) 竣工式の開催

- ア 日時=平成23年3月25日 午前10時30分から
イ 出席者=富士市長、富士健康福祉センター所長、衆議院議員、早川町長
静岡県議会議員、松野地区区長会長、富士厚生会役員など
合計148名

(5) 整備事業経過

日 時	内 容
21. 8. 28	富士市より施設整備事業者内定を受ける
22. 7. 22	富士市より補助金交付決定を受ける(みんなの家=設備整備費)
22. 8. 31	指名競争入札を行う
22. 9. 14	地鎮祭を開催する
22. 10. 26	富士市より補助金交付決定を受ける(松野の里=設備整備費)

23.	3.	9	富士市消防本部の検査を受ける
23.	3.	10	富士市の建築確認検査を受ける
23.	3.	11	消防検査済証の交付を受ける
23.	3.	14	建築検査済証の交付を受ける
23.	3.	15	富士市の土地利用事業計画完了検査を受ける
23.	3.	16	富士市より介護保険事業者の検査を受ける
		〃	富士市より補助金交付決定を受ける (みんなの家=施設整備費)
23.	3.	17	建設事業者から建物を受領する
23.	3.	22	富士市より介護保険事業者の指定交付を受ける (松野の里=施設整備費)
23.	3.	23	富士市より介護保険事業者の指定交付を受ける
23.	3.	25	竣工式を開催する
23.	3.	28	建物登記を行う
23.	3.	29	県知事より特別養護老人ホーム設置認可の交付を受ける
23.	3.	30	福祉医療機構貸付金の内定を受ける

(6) 整備事業会計決算書 (抄本)

	費 目	金 額	備 考
歳 入	富士市補助金	181,566,384	
	自己財源	242,580,914	
	内: (福祉医療機構借入金)	(30,000,000)	
	訳: (自己資金)	(212,580,914)	市中銀行 120,000,000 円
	歳入合計 (A)	424,147,298	
歳 出	建設工事費	309,063,812	井上建設 (株)
	内: 請負契約	(297,150,000)	
	変更契約	(6,094,712)	
	訳: 追加工事契約	(5,819,100)	
	土地利用事務費	3,990,000	(株) 協和工務店
	設計監理費	16,380,000	周建築設計事務所
	備品購入費	43,669,486	
	土地取得費	51,044,000	
	歳出合計 (B)	424,147,298	
	収支差額 (A) - (B)	0	

{2} 富士市西部地域包括支援センター事業開始予定

平成23年度富士市西部地域包括支援センター運営法人応募申請について、富士市が運営法人を公募したので、富士厚生会がこれに応え地域包括支援センター運営法人に応募し、富士市より選定をいただき2ヶ所にわたり平成23年4月1日より運営を開始する。

(1) 場 所

ア 所在地=本所 富士市横割本町2-17
(富士市指定建物)
支所 富士市岩淵137-1
(富士川フィランセ分館内)

(2) 事業内容

富士市西部地域包括支援センター
介護予防及び介護保険以外のサービスを含む高齢者や家族に対する総合的な相談・支援事業等

5 施設整備経過報告

{1} 早川町「地域密着型特別養護老人ホーム草塩おんせん」整備

平成22年度早川町地域密着型介護老人福祉施設整備計画事業として、早川町草塩地区へ「地域密着型特別養護老人ホーム草塩おんせん」の整備事業を行っている。平成22年2月1日に工事の着工をし、平成23年6月1日の工事完成を目標に、工程通り進捗している。

日 時	内 容
21. 12. 2	早川町より「地域密着型特養」事業採択通知あり
22. 4. 13	早川町「地域密着型特養」補助金内示
22. 6. 8	「地域密着型特養」県、町による基本設計審査
22. 6. 18	ボーリング調査
22. 9. 9	早川町・山梨県長寿社会課へ実地設計書を提出
22. 10. 28	早川町より「公有財産一時無償借用申請」の使用許可が下りる
22. 11. 26	早川町「地域密着型特養」建築確認申請の許可が下りる
22. 11. 30	早川町「地域密着型特養」入札
22. 12. 15	地鎮祭を開催する
23. 1. 11	早川町「地域密着型特養」補助金決定通知
23. 2. 1	特養「草塩おんせん」入所申込受付開始
23. 3. 23	特養「草塩おんせん」施主の中間検査
23. 3. 25	特養「草塩おんせん」境南建設事務所中間検査

6 富士宮市富士山南側を震源とする地震被害

平成23年3月11日に東日本大震災が発生後、平成23年3月15日に富士宮市富士山南側を震源とするマグニチュード6強の地震が発生しました。

富士厚生会各施設においては、日頃の防災訓練により利用者及び職員の負傷者もなく対応することが出来ました。

しかし、建物については地震による被害が出ており、修繕が必要である施設が出ております。この件については、平成23年3月25日、県へ報告し、被害状況としては、下記のとおりとなります。

記

(1) 三和荘

ア 被害状況 = 受水槽等の漏水、屋内外の亀裂

イ 修繕費概算 = 24,780,462円

(2) くぬぎの里

ア 被害状況 = 屋根、壁の亀裂

イ 修繕費概算 = 2,751,000円

(3) きぼうの里

ア 被害状況 = 外壁、内壁、ベランダの足場等に亀裂

イ 修繕費概算 = 28,100,224円

7 経営会議の開催

各施設毎に経営努力を行っているが、法人全体として均衡ある経営を確保する観点から、毎月、「経営会議」を開催し、必要な情報の交換、指導、確認を行った。

ア 出席者 = 本部・全8施設施設長・施設経理担当者等

イ 開催場所 = 富士厚生会本部

8 研修会の開催

○理事長による研修会

全職員を対象に、富士厚生会の事業理念及び事業発展の心構え、サービスの向上について

月 日 = 平成22年6月10日・12月10日

テーマ = 富士厚生会の事業理念及び事業展開の心構え

講師 = 仲 亀 透 理事長

会 場 = 三和荘、くぬぎの里、ネオライフとみざわ、シャローム富士川、長生園
きぼうの里、なかざと

○職員接遇マナー研修会

利用者・ご家族とのより良い人間関係づくりのために、思いやりの気持ちの伝え方を学び、あたたかな接遇の基本・マナーの基本として捉えその大切さと実践のポイントを習得する。

今、研修会については、全職員の参加で行われた。

講師 = JAL ACADEMY 森田素子 先生

開催月日	会 場	受 講 者
平成22年2月10日	富士宮市民文化会館	女性職員対象 153名

○産業医研修会

労働安全衛生法に基づき職員の安全と健康を確保するため、今年度も産業医研修会を開催した。

講師＝新富士病院 矢田貝 凱 医師

・第1回 テーマ＝「熟睡のコツ」について

開催月日	会場	受講者
平成22年11月19日	富士宮市民芝川公民館	73名
11月22日	富士ロゼシアター	72名
11月29日	富士ロゼシアター	75名

・第2回 テーマ＝「糖尿病なぜ怖い」について

開催月日	会場	受講者
平成23年3月2日	富士ロゼシアター	62人
3月9日	富士ロゼシアター	69人
3月11日	富士ロゼシアター	68人

○看護職員と介護職員の連携によるケア連携協働研修

厚生労働省の通知第0401第17号（平成22年4月1日）指針に基づき、利用者の重度化に伴い、利用者の医療ニーズに対し、介護者が関わらざるを得ない状況に対応する為に「喀痰吸引」及び「胃ろう経管栄養」の一部を「介護」と「医療」の協働の医療行為研修の医療的ケアを介護職員を対象に実施した。又、研修受講修了者者に対しては、終了証明書を発行する。

開催日	平成23年1月17日より3月31日
開催数	28回
開催場所	シャローム富士川・富士宮荘・ネオライフとみざわ・なかざと
研修時間	14時間（講義 10時間、実技 4時間）
受講者	介護職員 167名
講師	特養指導看護師 10名
第1回終了	平成23年3月31日

9 人材の確保と育成

福祉関係の就業は、民間企業の解雇者が減少しているものの、依然厳しい状況が続いている。

このような状況の中、平成23年度に向けた新卒者は18名を確保した。

また、中途退職者の補充については施設運営に支障をきたさないよう早期に対応し、必要な人員を確保した。

(1) 主な人材確保対策

- 学校訪問と求人票の提出＝大学、短大、専門学校、高校等。
 - 各種就職面接会への参加＝山梨・静岡県社会福祉協議会、地方労働局、看護協会、大学、ハローワーク等
 - インターネット・新聞広告の活用等求人誌
- (2) 平成23年度採用職員 18名の受入
- 平成23年3月10日・オリエンテーションの実施
 - 平成23年3月11日・8施設の見学会の実施
 - 平成23年3月28日～30日（3日間）実務研修を実施した。
- (3) 介護職員処遇改善交付金
平成22年度、実績12ヶ月分支給。

1.0 ホームページの運営

現代の情報化社会に対応するため、富士厚生会の理念、事業、活動等を広く一般に周知するとともに人材確保等に活用するため、各施設の代表委員が協同して、常に「富士厚生会ホームページ」の刷新を図った。

- 内容＝富士厚生会の概要・施設の紹介・事業の最新情報等
- アドレス＝ <http://www.fujikoseikai.or.jp>（「富士厚生会」で開ける）

1.1 内部会議の運営

各職場毎に関係職員による「内部会議」を開催し、法人全体の横の協調体制を確保した。

○ 富士厚生会内部会議実績一覧

会議名	開催回	内容
全体会	4	仕事始め・人事発令及び法人、施設の事業計画、予算の周知等。
定例会	8	法人理念に沿った事業展開を図る職務連絡、職員啓発、情報伝達等。
施設長会	24	本部と施設間との事務、事業にかかる連絡、調整及び情報交換等。
代表者部会	6	各部部长による部会活動にかかる横の連絡・調整等。
事務部会	12	事務、会計処理の正確化、迅速化、合理化のための研修、打合せ等。
指導部会	12	施設経営の円滑化を図る調整、模範となる指導員像について学習等。
看護部会	10	利用者の健康管理及び感染症対策に係る情報交換、協働研修。
栄養士部会	7	給食の向上及び食品衛生の確保を図るための研修、打合せ等。
介護部会	8	利用者の安全確保、介護技術の向上に関する研修、打合せ等。
ケアマネ部会	5	ケアプラン作成及びケース事例研究等。
アドバイザー部会	12	施設間の情報連携、施設見学等
在宅部会	6	ケアマネジメントの知識、技術の向上を図る研修等。
特養部会	2	老人ホームの円滑かつ的確な運営を図るための情報交換等。
支援費施設部会	1	支援費制度への移行に対応するための情報交換、連絡、調整等。
法令遵守委員会	1	法人の経営に係わる関係法令を組織を上げて遵守する。

平成22年度

事業実績報告書

社会福祉法人 富士厚生会
特別養護老人ホーム 富士宮荘

1, 事業報告

平成22年度は、入退所と入院が多くあったが稼働率99.5パーセントと前年対比で0.2ポイント増となりました。これは、嘱託医や看護師、ケアワーカーの連絡により入院日数を最小限に抑えること及び入退所をスムーズに行った結果であります。

また、感染症対策は、利用者のインフルエンザワクチンの接種の実施及び施設内消毒の実施をしていること、更に1月末から3月末まで面会制限を行ったことなどにより、1名の感染者を出すことなく過ごすことが出来ました。

施設内行事については、果物狩りやB-1グルメ祭りといった施設内行事を行い、ボランティア等の協力により利用者が楽しく過ごすことができました。

制度的には、看護師を中心にケアワーカーが行うことの出来る医行為（胃ろう・たんの吸引）の研修をすべてのケアワーカーが終了することが出来ました。

防災訓練については、万一の災害に備えるため毎月1回実施をしており、3月11日におきた東日本大震災及び3月15日の富士宮市でおきた震度6強の地震に対しても、利用者及び職員が落ち着いた行動をとることができ、負傷者もだすことなく対応できました。

2, 入居者の状況

(1) 定員 70名

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入 所	4	5	2	2	0	2	5	3	4	3	1	0	31
退 所	5	4	2	2	0	2	6	2	4	3	1	0	31
現 員	69	70	70	70	70	70	69	70	70	70	70	70	

入退所理由

入所	待機者リスト～	31名	計31名
退所	死亡	～ 27名	
	病院	～ 4名	計31名

(2) 市町村別利用状況 (平成23年3月末日)

市町村	男	女	合 計
富士宮市	16	38	54
富士市	1	8	9
沼津市	0	2	2
御殿場市	1	0	1
南部町	1	3	4
計	19	51	70

(3) 年齢別及び在所期間

定 員	在所者数	年 齢 階 級 別								在 所 期 間					
		64歳以下	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95以上	1年未満	1～3	3～5	5～10	10年以上	
計70															
性 別	男	19	3	0	3	2	4	4	2	1	10	5	1	1	2
	女	51	1	1	2	5	10	12	15	5	16	13	10	5	7

平成23年3月31日現在

平均年齢

平均	83.8歳		
男性	78.8歳	男性最高齢者	95歳
女性	85.7歳	女性最高齢者	99歳

在所期間

男性	44.7ヶ月	全体	46ヶ月
女性	46.5ヶ月		

(4) 要介護度別

要介護度	男	女	計
要介護1	1	0	1
要介護2	1	1	2
要介護3	4	8	12
要介護4	6	20	26
要介護5	7	22	29
合計	19	51	70

平均介護度 4.1

(5) 入院状況

入院者	退所後の内訳			
	退院	転院	入院退所	死亡
7	2	0	4	0

平成22年度富士宮荘日課表

日勤業務		早出業務		遅出業務		夜勤業務	
8:30	寮母引継りリーダー 洗面介助	6:30	朝食介助	10:30	お茶出し・昼食準備	20:30	出勤・申し送り
8:50	朝礼	8:00	下膳・ 口腔ケア	11:30	昼食介助	20:45	オムツ交換 コール対応
9:00	排泄介助・体位交換・入浴介助 洗浄 諸行事準備・理美容 ・回診	8:30	休憩	12:30	昼食休憩		
10:30	トランス・お茶出し	8:45	排泄介助・理美容 ・入浴介助・日勤者と業務内容同じ	13:50	医務・合同引継 排泄介助 入浴出来な ない方の 拭拭1名	23:00	オムツ交換・コール対応 1時間毎の見廻り
11:00	休憩：昼食準備・ エプロン・歯ブラシ・お茶	9:00	業務	15:30	夕食準備	0:00	体位交換
11:15	昼食配膳・食事介助	9:30	行事がある日は行事	16:00	休憩	2:00	見廻り
11:30	下膳・清掃・記録 昼食休憩	10:00	車イス移動 (1名)	16:30	夕食配膳準備	4:00	体位交換 見廻り
12:50	医務・合同引継	10:30	昼食介助	16:45	夕食介助	5:00	排泄介助
14:00	排泄介助・入浴介助	11:00	昼食休憩	15:50	申し送り		ボイラー点火(給湯・暖房)
14:00	曜日により 一般浴 車イス移乗 特浴	11:30	見回り	18:00	下膳 後片付け・車イス移動	6:00	排泄介助 検温
15:30	入浴終了	12:50	入浴介助 歯科往診(金)	18:30	口腔ケア・排泄記録	6:00	お茶入れ準備
16:00	医務の指示 の食事	13:50	入浴終了	19:30	排泄介助【2名】 服薬介助・水分補給【1名】	6:00	カーテン開け 入れ歯洗浄
16:30	休憩	14:00	退社	19:45	バイタルチェック ・パソコン入力	6:30	お茶(パート)
16:45	夕食配膳	14:00		20:00	申し送り	7:00	エプロン配り
17:00	夕食介助	15:30		20:30	洗濯物関係 退社	8:00	車イス移動・ベットUP
18:00	食事片付け 退社	16:00				8:30	朝食準備 朝食 下膳・清掃 洗面介助・口腔ケア エプロン・おしぼり洗濯・パソコン入力 朝礼・寮母引継 退社

平成22年度事業実施状況

月	日	行 事	施 設 内 容	施設会議
四 月	1	全体朝礼		主任会議
	2	花見	上井出地区ボランティア	各セクション会議
	7	入居者懇談会		リスクマネジメント会議
	8	ショッピング	ピアゴ 民生委員	リスクマネジメント委員会
	9	検便		事務請求会議
	13	クラブ音楽	ボイス・オブ・シャローム	全体会議
	20	防災訓練		ケースカンファレンス
	22	ショッピング	ピアゴ 民生委員	感染症対策委員会
23	検便		身体拘束委員会	
五 月	7	藤の花見	大石寺下の坊 上井出地区ボランティア	主任会議
	11	防災訓練		各セクション会議
	13	ショッピング	ピアゴ 民生委員	リスクマネジメント会議
	19	誕生会	五月会	リスクマネジメント委員会
	20	奉仕	あゆみの会	事務請求会議
	21	慰問	キンダー学園慰問	全体会議
	21	監査	法人監査	ケースカンファレンス
	26	奉仕	白百合グループ	理美容
27	理事会		接骨院	
27	ショッピング	ピアゴ 民生委員	身体拘束委員会	
六 月	3	入居検討委員会		主任会議
	4	バスハイク	田貫湖 上井出地区ボランティア	各セクション会議
		検便		リスクマネジメント会議
	8	クラブ音楽	ボイス・オブ・シャローム	リスクマネジメント委員会
		防災訓練		事務請求会議
	10	ショッピング	ピアゴ 民生委員	全体会議
	11	慰問	キンダー学園慰問	理美容
	16	誕生会	玉扇舞踊会	接骨院
18	検便		身体拘束委員会	
	清拭寄贈	猪之頭小・中・婦人会		
21	奉仕	あゆみの会		
24	ショッピング	ピアゴ 民生委員		
	慰問	上井出小学校		
七 月	2	ボランティア	上井出地区ボランティア	主任会議
	8	ショッピング	ピアゴ 民生委員	各セクション会議
	13	防災訓練		リスクマネジメント会議
	21	奉仕	あゆみの会	リスクマネジメント委員会
		誕生会	富士舞劇団	事務請求会議
	22	ショッピング	ピアゴ 民生委員	全体会議
	25	夏祭り	白百合グループ	理美容・接骨院
28	奉仕		身体拘束委員会	
八 月	3	施餓鬼供養	本源寺住職来荘	主任会議
	4	監査	内部監査	各セクション会議
	5	理事会		リスクマネジメント会議
	6	検便		リスクマネジメント委員会
	10	防災訓練		事務請求会議
		クラブ音楽	ボイス・オブ・シャローム	全体会議
	13	調査	静岡県介護サービス情報公表	理美容
	16	入居検討委員会		接骨院
20	検便		身体拘束委員会	
	奉仕	あゆみの会	感染症対策委員会	
	奉仕	白百合グループ		
25	ショッピング	ピアゴ 民生委員		
26	ショッピング			
九 月	3	ボランティア	上井出地区ボランティア	主任会議
	5	敬老会	チャッキリ夢恋人	各セクション会議
	7	防災訓練		リスクマネジメント会議
	9	ショッピング	ピアゴ 民生委員	リスクマネジメント委員会

月	15 20 29 30	誕生会 敬老会 奉仕 奉仕	美鈴会 地域敬老会 白百合グループ あゆみの会	事務請求会議 全体会議 身体拘束委員会
十 月	1 8 12 14 15 18 19 22 26 27 28 29	福祉作品展 検便 ボランティア レクリエーション クラブ音楽 ショッピング 入居者懇談会 入居検討委員会 慰問 検便 慰問 理事会 奉仕 実習 ショッピング 奉仕	シャローム富士川にて 15日まで 上井出地区ボランティア 果物狩り ボイス・オブ・シャローム ピアゴ 民生委員 上井出小学校 キンダー学園慰問 白百合グループ JA女性会 Fujiアカデミー ピアゴ 民生委員 あゆみの会	主任会議 各セクション会議 リスクマネジメント会議 リスクマネジメント委員会 事務請求会議 全体会議 理美容 接骨院 身体拘束委員会
十 一 月	2 5 7 11 12 17 19 22 24 25 29	防災訓練 ボランティア 家族会 ショッピング 監査 誕生会 慰問 産業医研修 奉仕 奉仕 ショッピング 入居検討委員会 産業医研修	上井出地区ボランティア ピアゴ 民生委員 厨房 シルバー人材センター 奉仕活動 富士根南女性連絡協議会 キンダー学園慰問 熟睡について あゆみの会 白百合グループ ピアゴ 民生委員 熟睡について	主任会議 各セクション会議 リスクマネジメント会議 リスクマネジメント委員会 事務請求会議 全体会議 理美容・接骨院 身体拘束委員会 感染症対策委員会
十 二 月	3 7 8 9 10 14 15 19 21 28	検便 防災訓練 奉仕 ショッピング 寄贈 クラブ音楽 誕生会 ボランティア クリスマス会 餅つき 仕事納め	あゆみの会 ピアゴ 民生委員 リーチェル幼稚園 清拭・足ふきマット寄贈 ボイス・オブ・シャローム 玉扇舞踊会 ピアノ フェリーチェの会	主任会議 各セクション会議 リスクマネジメント会議 リスクマネジメント委員会 事務請求会議 全体会議 理美容・接骨院 身体拘束委員会
一 月	1 4 7 11 13	おとそ 仕事初め式 どんど焼き 防災訓練 ショッピング	富士川まちづくりセンター リーチェル幼稚園・上井出地区ボランティア ピアゴ 民生委員	主任会議 各セクション会議 リスクマネジメント会議 リスクマネジメント委員会 事務請求会議

月	14	監査	社会福祉法	全体会議 身体拘束委員会
	19	誕生会	富士根南女性連絡協議会	
	23	駅伝	南部町駅伝	
	27	ショッピング	ピアゴ 民生委員	
	30	豆まき	浅間大社	
二 月	1 3~ 8 9	入居検討委員会 研修 防災訓練 監査 実習生 法人研修	医行為研修 4日まで 診療所立入検査 Fuji アカデミー 1名(本体) JAL 接遇研修 (女性)	主任会議 各セクション会議 リスクマネジメント会議 リスクマネジメント委員会 事務請求会議 身体拘束委員会 感染症対策委員会
	13	富士宮駅伝		
	15	実習生	Fuji アカデミー 1名(デイ)	
	16	実習生	Fuji アカデミー 1名(ヘルパー)	
	18	レクリエーション	B-1 グルメ祭り 上井出地区ボランティア	
	21~	研修	医行為研修 22日まで	
	23	実習生	Fuji アカデミー 1名(本体)	
	28	研修	JAL 接遇研修 (男性)	
三 月	2 8 9 11 15 18 24~	監査 産業医研修 防災訓練 産業医研修 産業医研修 入居者懇談会 理事会 研修	介護保険実地指導 糖尿病について 糖尿病について 糖尿病について 医行為研修 25日まで	主任会議 各セクション会議 リスクマネジメント会議 リスクマネジメント委員会 事務請求会議 全体研修会 理美容・接骨院 身体拘束委員会

平成22年度

事業実績報告書

社会福祉法人 富士厚生会

ショートステイ 萩の里

1. 事業報告

平成22年度は、「安定的な収益確保・稼働率アップのための質の高いサービス提供実施と信頼関係の構築」を目標としてきました。

積極的な新規利用者の開拓や居宅介護支援事業所への空室状況提供等の活動結果により、昨年低調であった夏期の稼働率が80%を超える高い数字を達成することができ、結果的には新規利用者53名で前年比7名増、稼働率79.4%で前年比1.4ポイント増となりました。

また、利用者やその家族とも職員一人一人が交流を持ちケアの透明性を確保することで、信頼関係を築く事が出来ました。

今後とも、安定的な収益確保に向けて空室状況の情報は継続提供を行うと同時に、職員には質の高いケアを実践しサービス提供に努め、常に全員が目標数値を意識した業務遂行を目指していきます。

2. 利用実績

月	要支援	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5	計(人)	1日平均(人)	延べ人数(人)	稼働率(%)	新規利用(人)	平均介護度
4		4	12	9	16	12	53	14.4	432	72.0	5	3.5
5		4	9	10	18	9	50	15.1	469	75.6	5	3.6
6		5	10	9	19	11	54	15.9	476	79.3	3	3.5
7		5	9	11	18	10	53	15.5	479	77.2	4	3.4
8		3	12	11	15	13	54	17.9	555	89.5	4	3.4
9		5	12	12	16	13	58	17.4	522	87.0	1	3.4
10	1	6	9	14	19	12	61	15.3	475	76.6	8	3.5
11		4	13	14	18	12	61	14.6	438	73.0	6	3.4
12	1	5	9	11	17	10	53	15.6	483	77.9	3	3.5
1		6	10	17	13	9	55	15.6	484	78.0	7	3.7
2	2	4	11	15	13	11	56	16.4	460	82.1	2	3.6
3	3	4	9	16	12	12	56	17.1	529	85.3	5	3.5
合計	7	55	125	149	194	134	662	15.9	5802	79.4	53	3.5

3. 平成22年度 利用者日課表

時間	行動内容
5:00	検温・排泄（交換・介助・誘導）
6:00	起床・洗面
7:15	朝食準備
7:30	朝食・口腔ケア（終了後自由時間）
9:00	入所者送迎・排泄（交換・介助・誘導）
10:00	おやつタイム・機械浴開始
11:30	昼食準備・昼食前運動
12:00	昼食・口腔ケア
12:30	自由時間
13:30	個浴開始・排泄（交換・介助・誘導）
14:30	おやつタイム
15:00	レクリエーション
16:00	退所者送迎（夕食まで自由時間）
17:30	夕食準備
18:00	夕食・口腔ケア
18:30	自由時間
20:00	検温・排泄（交換・介助・誘導）
21:00	消灯

4. 平成22年度 行事活動実施表

月	行事
4月	クラブ音楽・花見・誕生会
5月	キンダー学園慰問・誕生会
6月	クラブ音楽・上井出小学校慰問・キンダー学園慰問・誕生会
7月	富士宮荘夕涼み会・誕生会
8月	クラブ音楽・誕生会
9月	誕生会
10月	キンダー学園慰問・上井出小学校慰問・誕生会
11月	ショート運動会・キンダー学園慰問・誕生会
12月	リーチェル幼稚園慰問・クラブ音楽・ピアノ演奏会・クリスマス・誕生会
1月	どんど焼き・誕生会
2月	富士宮荘B級グルメ祭り・誕生会
3月	誕生会・ひな祭り

※上記の行事以外の通常日はレクリエーション時間に実施。内容は以下の通り。

運動系: バルーンバレー・輪投げ・お手玉投げ・魚釣りゲーム・指運動・ボーリング
 製作系: お菓子作り・ちぎり絵・お面作り・折り紙・ぬり絵・ゴミ袋作り
 頭脳系: パズル・しりとり・双六 その他: カラオケ

平成22年度

事業実績報告書

社会福祉法人 富士厚生会
デイサービスセンター みどりの里

平成22年度 事業活動内容

1, 事業報告

平成22年度は、地域に埋もれている利用ニーズの発掘に重点を置き、居宅介護支援事業所と連携強化に努めました。また、利用回数変更及び振替利用等にも柔軟に対応し、利用者ニーズの実現に向けて取り組んだことにより、稼働率においても65.1パーセントと前年度対比6ポイント増となりました。

今後も、前年度同様、稼働率向上に繋がるよう広報活動も引き続き行い、利用者のニーズの把握に努め、みどりの里独自のサービスを展開し、日常生活の中できめ細かな特色のあるサービスの向上に努め、稼働率の維持、向上に意を注ぎます。

2, 事業内容

① 日常生活の援助

ア、排泄介助 イ、移乗介助 ウ、移動介助 エ、その他必要とされる介助
オ、養護（休養）

② 健康状態の確認把握 ③レクリエーション（アクティビティ・サービス）

④ 趣味活動 ⑤送迎サービス ⑥入浴サービス ⑦食事サービス

⑧ 相談・助言等 ⑨昼食時服薬管理 ⑩介護サービス ⑪日常生活動作

3, 教養余暇事業

自主性と自発性を尊重し、個別対応で自分に適した内容を娯楽的要素を取り入れて実施しました。

① 踊り教室（喜繪の会 毎月3回、リズム安寿 毎月1回）

② 書道教室、絵手紙、水墨画

③ クラブ音楽

④ 手芸教室

⑤ レクリエーション

⑥ 誕生会（誕生カード作成し、手渡し）

⑦ 健康講座（季節にあった内容【新型インフルエンザ、ノロウイルス】等を簡単にまとめ利用者様の前で講義を行いました。）

⑧ デイサービスセンターみどりの里 健康体操

4, 広報活動

機関紙“かがやき”を毎月発行しました。

5, 実施事業

4月	・喜繪の会・紙芝居・塗り絵・手芸(鯉のぼり飾りづくり・うさぎ作り) ・銭太鼓リズム安寿・おやつレク(桜ゼリー)・唱歌
5月	・銭太鼓リズム安寿・おやつレク(蕎麦打ち)・喜繪の会 手芸(お守り袋作り・柏餅作り)・頭の体操・漢字クイズ
6月	喜繪の会・紙芝居・おやつレク(ところてん)・銭太鼓リズム安寿・カラオケ大会・折り紙・壁飾り作り・塗り絵
7月	・手芸(枕カバー)・紙芝居・回想法クイズ・七夕飾り・ビンゴ大会 銭太鼓リズム安寿・喜繪の会・おやつレク(ドーナツ)
8月	手芸(写真入れ)・リズム安寿銭太鼓・喜繪の会・ビンゴゲーム ・玉扇舞踊会・的充てゲーム・夏祭り
9月	敬老会・作品展作品制作・手芸(ぶどう・ポーチ)・おやつレク(ぜんざい) リズム安寿銭太鼓・喜繪の会・間違い探し・カルタ・折り紙
10月	・おやつレク(たこ焼き)・風船バレー・唱歌・回想法・塗り絵・カラオケ 手芸(ストラップ作り)
11月	・頭の体操・昔話読み聞かせ・おやつレク(スイートポテト)カラオケ大会 ・手芸(タオルお手ふき)・玉扇舞踊会・リズム安寿銭太鼓
12月	クリスマス会兼忘年会(おやつレク 手巻き寿司、クレープ)・福祉展最終 準備・手芸(正月飾り作り)・頭の体操
1月	すごろく・福笑い・手芸(お面作り)・デイルーム飾りつけ・おやつレク(蒸しパン・ミカンゼリー)・奮き初め・カラオケ・銭太鼓リズム安寿
2月	手芸(ちぎり絵作り・うさぎ作り)・おやつレク(リッツ)・カラオケ大会 ・ハンドケア・回想法・銭太鼓リズム安寿・喜繪の会
3月	カラオケ・紙芝居・手芸(くす玉作り)・おやつレク(あんみつ)、クイズ ・塗り絵・ハンドケア・回想法

※ 毎月、防災訓練、健康講座、誕生会を行いました。

6, 利用実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日数	26	26	26	27	26	26	26	26	25	24	24	27	309
延べ人数	415	419	424	450	421	451	455	436	400	377	368	416	5032
平均利用者数	15.9	16.1	16.3	16.6	16.2	17.3	17.5	16.7	16	15.7	15.3	15.4	16.2
稼働率	63.6	64.4	65.2	66.6	64.3	69.4	70	67	64	62.8	61.3	61.6	65.1

平成22年度

事業実績報告書

社会福祉法人 富士厚生会
在宅介護支援センター のぞみ

1. 事業実施報告書

平成22年度は、地域に密着した相談窓口機関として地域住民に広く知ってもらうように、講師の依頼や担当エリア内のボランティア活動にも積極的に参加し、広報活動に力を注ぎました。

総合相談業務では、地域包括支援センターと連携を図りながら、個々の抱える様々な相談にあたる事が出来ました。

介護に従事している家族を対象とした「家族介護教室」では、前年度よりも扱うテーマを増やし、より多くの内容を学べる講座としました。

また、介護に従事している方へのリフレッシュを目的として、お化粧品講座を開催し、介護者が心身ともに元気になれる機会を作りました。

65歳以上の方を対象とした「介護予防教室」では、実施回数は前年度より減少しましたが、認知症予防や転倒予防だけでなく新しいテーマを取り入れ、飽きのこない内容で実施することができました。

また、地域の要望を第一に考え、寄り合い処や区民館という小地域で開催することで、地域に根ざした介護予防活動を展開しました。

来年度も、地域からの依頼には積極的に対応し、総合相談を始め、各事業の効果的な推進に努めてまいります。

平成22年度 総合相談支援業務件数

(単位 件)

日付	方法					種別													相談経路									
	電 話	外 来	訪 問	ネ ッ ト ワ ー ク 活 動	包 括 へ の 連 絡 ・ 相 談	介 護 保 険	介 護 予 防	一 般 高 齢 者	障 害 者 (知 的)	障 害 者 (精 神)	障 害 者 (身 体)	権 利 擁 護 (虚 待)	権 利 擁 護 (成 年 後 見 制 度)	権 利 擁 護 (他)	医 療 保 健 相 談	児 童	経 済 的 問 題	そ の 他	本 人	親 家 族	委 民 員 童	ケ ア マ ネ	他 機 関 専 門 職	近 隣 住 民 ・ 知 人	行 政 機 関 (警 察 ・ 消 防 舎)	そ の 他		
4月	77	3	60	13	8	50	9	71	0	11	2	0	0	0	0	0	0	18	9	48	35	0	10	15	30	14		
5月	54	4	69	18	5	20	16	96	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	21	35	49	0	13	1	13	18		
6月	93	3	62	5	6	26	21	114	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4	12	47	67	0	15	2	22	4		
7月	66	4	64	1	9	19	8	113	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	35	22	19	0	14	14	39	1		
8月	73	5	51	1	10	25	24	87	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	28	54	24	0	8	0	25	1		
9月	64	4	41	2	4	22	16	71	0	3	1	0	0	0	0	0	0	2	26	24	39	0	5	10	9	2		
10月	50	2	44	2	12	25	12	55	0	5	0	0	0	0	0	0	0	13	14	31	21	0	13	1	26	4		
11月	65	0	53	1	5	20	18	78	0	7	0	0	0	0	0	0	0	1	16	45	38	0	5	1	18	1		
12月	39	3	36	2	1	5	13	61	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	21	35	13	0	1	0	9	2		
1月	51	2	47	0	5	26	27	52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	43	28	0	0	2	16	0		
2月	74	2	48	3	3	32	19	58	0	18	0	0	1	0	0	0	0	2	11	70	31	0	3	11	2	2		
3月	72	0	81	0	4	8	7	129	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	38	77	16	0	7	1	17	0		
合計	778	32	656	48	72	278	190	985	2	64	3	0	1	0	0	0	0	62	246	531	380	0	94	58	226	49		

平成22年度 介護予防教室実施回数

	開催日	開催場所	内容	時間	参加者		
					男性	女性	合計
第1回	6月10日	小泉2区区民館	笑いは元気のもと・健康体操	90分	1人	26人	27人
第2回	6月17日	大岩1区区民館	転倒予防について・脳トレの紹介	90分	0人	15人	15人
第3回	7月21日	舟久保公会堂	笑いは元気のもと・健康体操	90分	2人	10人	12人
第4回	8月4日	上小泉区民館	笑いは元気のもと・健康体操	90分	0人	14人	14人
第5回	10月5日	村山3区高齢者学級	認知症予防の講話・脳トレ体操	90分	5人	1人	6人
第6回	10月7日	根北公民館高齢者学級	認知症予防の講話・脳トレ体操	90分	1人	9人	10人
第7回	10月15日	社領公会堂	認知症予防の講話・歌に合わせた健康体操	90分	0人	21人	21人
第8回	10月16日	杉田5区区民館	認知症予防の講話・脳トレ体操	90分	12人	17人	29人
第9回	12月20日	小泉5区区民館	認知症予防の講話・脳トレ体操	90分	5人	20人	25人
第10回	1月12日	上小泉区民館	生活機能チェック表による介護予防の講話	90分	3人	25人	28人
第11回	1月19日	舟久保公会堂	生活機能チェック表による介護予防の講話	90分	2人	15人	17人
第12回	2月3日	大岩1区区民館	認知症予防の講話・脳トレ体操	90分	0人	18人	18人
第13回	3月2日	小泉6区区民館	認知症予防の講話・脳トレ体操	90分	14人	9人	23人
合 計					45人	200人	245人

平成22年度 家族介護者教室実施回数

	開催日	開催場所	内容	時間	参加者		
					男性	女性	合計
第1回	8月31日(火)	富士根南公民館	知って得する！？高齢者の制度・お金の話、福祉用具の紹介 介護保険制度やお金の管理に関する制度 医療にまつわる制度・障害に関する制度のご紹介	120分	3人	10人	13人
第2回	9月14日(火)	富士根南公民館	見逃さないで！高齢者の身体の変化 老化による身体の変化を学びましょう 気を付けたい高齢者の体調と病気	120分	2人	10人	12人
第3回	9月29日(水)	富士根南公民館	らくらく介護術(介護技術指導) 介護するのなら、より楽な方法を教えて貰おう！ 人形を使いながら実践的に学んでみよう	120分	3人	9人	12人
第4回	10月14日(木)	富士根南公民館	高齢者に必要な栄養について 高齢者の食に関する知識・献立のたて方を学ぼう 高齢者に人気スイーツの試食会	120分	0人	8人	8人
第5回	10月27日(水)	富士根南公民館	口と歯の話(口腔ケア) 高齢者のお口の健康について学ぼう 手入れの仕方やお口の健康体操などをご紹介	120分	2人	6人	8人
第6回	11月10日(水)	富士根南公民館	救命救急講習 ～万が一の時に～ AEDって知ってますか？ 救命救急について体験しながら学びましょう	120分	1人	6人	7人
第7回	11月25日(木)	富士根南公民館	高齢者を狙う悪徳商法・契約トラブル 座談会 最近様々な手口で高齢者が狙われています 気を付けるための知識をQ&Aで学ぼう 介護教室を終えての感想、要望等	120分	1人	6人	7人
第1回	12月10日(金)	富士根南公民館	お化粧品講座(特別講座) 介護に疲れておろそかになりがちな美容について学ぼう 実際にメイクを自分でして、キレイになっても心も体もリフレッシュをはかろう	120分	0人	6人	6人
合 計					12人	61人	73人

平成22年度

事業実績報告書

社会福祉法人 富士厚生会
居宅介護支援事業所 のぞみ

1. 基本理念

利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じて自立した生活を営むことができるよう、利用者に対し、適切な居宅サービス計画書を作成し、かつ、居宅サービスの提供が確保されるよう居宅サービス事業所その他の事業所、関連機関との連絡調整その他の便宜を提供していきます。

2. 利用者のケアマネジメント

利用者、家族がより良いサービスを利用するためにサービス担当者会議を開催し、ケアプランを作成して、同意を得て、交付しました。

また、モニタリングなど必要項目を実施しました。電話連絡や定期的なケアカンファレンスによりサービス提供事業所との連携を図り、利用者の自立支援のためのサービスを円滑に行われるよう利用者のお宅に直接訪問してお話を聴いたり、必要時に利用者本人やそのご家族、サービス提供事業所や担当医などとケアカンファレンスを開くなどして便宜を図りました。

3. 研修参加

研修に参加することで介護支援技術、知識、人間性の向上を図りました。

・富士宮市居宅介護支援部会

居宅介護支援部会研修会

「高次機能障害の新たな発見や捉え方を学ぼう」

期 日：平成 22年 6月 18日

場 所：富士宮市役所特大会議室

内 容：高次機能障害について 講師…坂口英夫氏

「スキルアップ研修会」

期 日：平成22年7月～平成22年12月までの期間内に合計4回

場 所：富士宮市役所特大会議室、富士宮市総合福祉会館

内 容：ケアマネ業務のスキルアップ（グループワーク）

「知っておきたいケアマネ業務のポイント」

期 日：平成23年2月23日

場 所：富士宮市総合福祉会館

内 容：ケアマネ業務全般の説明、ポイントについて

・富士厚生会ケアマネ部会

期 日：年間4回（平成22年5月・8月・11月・平成23年2月）

場 所：各施設持ち回り

内 容：介護保険制度の内容について・実地指導・事例検討

・その他

富士宮市介護保険事業所連絡協議会総会

平成22年5月19日 安藤記念ホール
富士宮市介護保険事業者説明会
平成22年12月10日 富士宮市役所
静岡県介護保険事業者集団指導
平成22年10月5日 沼津市民文化センター
認定調査員現任研修
平成23年1月26日 沼津市民文化センター

4. 受託事業

各保険者から要支援者のケアマネジメントを受託しました。

(富士宮市地域包括支援センター、富士市北部地域包括支援センター)

各保険者から認定調査を受託しました。

(富士宮市、富士市、静岡市、伊豆の国市、広島県廿日市市)

5. 医療機関・介護保険施設・市町村等との連携

- ・介護保険施設の紹介、申込の代行を行いました。
- ・入退院時におけるご利用者の情報交換を医療機関とおこない、円滑に在宅復帰ができるよう支援しました。
- ・特定疾患、身体障害者手帳の申請代行を行いました。
- ・その他各種減額制度や障害者自立支援法、精神保健法等に基づく福祉サービスの提案、申請代行を行いました。

6. 「介護サービス情報の公表」制度

平成22年8月13日 (財)総合健康推進財団の指導のもと、各項目について回答を行いました。

7. 静岡県介護保険施設等実地指導

平成23年3月2日 静岡県健康福祉部長寿制作局介護指導課による実地指導が行われ、ご指導を頂きました。

給付管理票提出状況
平成22年4月～平成23年3月
(平成21年度4月～平成22年3月までとの比較)

	居宅給付管理									介護予防給付管理								
	男			女			計			男			女			計		
	今年度	昨年度	昨年比	今年度	昨年度	昨年比	今年度	昨年度	昨年比	今年度	昨年度	昨年比	今年度	昨年度	昨年比	今年度	昨年度	昨年比
H22/4	15	19	78.9%	52	46	113.0%	67	65	103.1%	3	4	75.0%	6	9	66.7%	9	13	69.2%
H22/5	13	17	76.5%	56	48	116.7%	69	65	106.2%	6	4	150.0%	4	8	50.0%	10	12	83.3%
H22/6	11	16	68.8%	59	52	113.5%	70	68	102.9%	6	4	150.0%	5	9	55.6%	11	13	84.6%
H22/7	13	17	76.5%	57	47	121.3%	70	64	109.4%	6	5	120.0%	5	9	55.6%	11	14	78.6%
H22/8	15	16	93.8%	58	46	126.1%	73	62	117.7%	5	5	100.0%	7	10	70.0%	12	15	80.0%
H22/9	15	16	93.8%	58	46	126.1%	73	62	117.7%	2	5	40.0%	7	9	77.8%	9	14	64.3%
H22/10	14	16	87.5%	57	48	118.8%	71	64	110.9%	3	5	60.0%	7	9	77.8%	10	14	71.4%
H22/11	13	15	86.7%	59	47	125.5%	72	62	116.1%	1	5	20.0%	6	7	85.7%	7	12	58.3%
H22/12	15	13	115.4%	59	48	122.9%	74	61	121.3%	3	5	60.0%	5	7	71.4%	8	12	66.7%
H23/1	17	13	130.8%	55	48	114.6%	72	61	118.0%	2	5	40.0%	6	7	85.7%	8	12	66.7%
H23/2	18	13	138.5%	53	49	108.2%	71	62	114.5%	1	5	20.0%	8	7	114.3%	9	12	75.0%
H23/3	17	14	121.4%	55	56	98.2%	72	70	102.9%	2	5	40.0%	8	7	114.3%	10	12	83.3%
合計	176	185	95.1%	678	581	116.7%	854	766	111.5%	40	57	70.2%	74	98	75.5%	114	155	73.5%

※ 平成21年度、22年度とも専従2名の体制

平成22年度

事業実績報告書

社会福祉法人 富士厚生会

ホームヘルプ 富士宮荘

事業報告書

平成22年度の実利用者数は11名と、前年度16名より5名の減となり、年間の延べ利用者数も前年度対比で569名と大幅な減少となりました。その原因は、死亡された方、施設入所された方、長期入院されている方、他のサービスに変更された方等とても厳しい状況になっております。

利用者も年々高齢化しており、いつ体調不良になるかわかりません。また他の利用者も介護度の低い人、利用回数が少ないなども、稼働低下の原因となっています。

今後は新規利用者開拓に力をいれて実績アップに努力していきます。

3. 月別利用者延べ人数比較 (単位：人)

	23年3月31日現在	22年4月1日現在	対比
要支援1	0	0	0
要支援2	1	2	-1
介護度1	3	5	-2
介護度2	5	5	0
介護度3	1	2	-1
介護度4	1	0	1
介護度5	0	2	-2
合計	11	16	-5

	平成22年度	平成21年度	前年度比
4月	225	213	12
5月	193	209	-16
6月	182	221	-39
7月	190	227	-37
8月	164	196	-32
9月	154	196	-42
10月	142	217	-75
11月	151	209	-58
12月	159	205	-46
1月	131	196	-65
2月	114	198	-84
3月	148	235	-87
合計	1953	2522	-569

平成22年度 事業実績報告書

社会福祉法人富士厚生会
指定介護老人福祉施設
特別養護老人ホーム ネオライフとみざわ

1) 事業実績報告（入所）

平成22年度は、介護保険制度10年目の節目にあたり、ネオライフとみざわは開設して8年になりました。介護サービスを提供するうえで地域に愛され、信頼される施設づくりを目指してきたところであります。

法人による産業医研修、接遇マナー研修など積極的に参加をしてきました。知識や技術の習得をして切磋琢磨の中で、より質の高い介護サービスを行えるよう取り組んでまいりました。

入所者様の状況は11名の入退所（前年度7名）はありましたが、稼働率は96.7%（前年度97%）となっており、平成23年度は、稼働率増となるよう今まで以上に病院、家族と密な連携を保ち信頼関係をより強固なものになるよう努めてまいります。

2) 入所者の状況(平成23年3月31日現在)

①月別入退所者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所	1	0	0	0	3	3	1	0	0	0	2	1	11
退所	1	0	0	1	4	1	1	0	0	1	1	1	11
現員	50	50	50	49	48	50	50	50	50	49	50	50	

②市町村別入所者数

市町村別	南部町	身延町	富士川町	早川町	富士宮市	富士市	静岡市	合計
男性	10	3	1	0	0	0	0	14
女性	25	5	0	1	2	1	2	36
合計	35	8	1	1	2	1	2	50

③要介護度別入所者数

I, 平均介護度 一般棟=3.4 認知棟=4.4

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
一般棟	4	5	5	7	9	30
認知棟	0	0	3	7	10	20
合計	4	5	8	14	19	50

II, 男性平均=3.6 女性平均=3.9

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	1	2	3	4	4	14
女性	3	3	5	10	15	36
合計	4	5	8	14	19	50

※ 入所利用者平均介護度=3.8

④年齢別及び在所期間

	在所者数		年齢階級層								
	計50	64歳以下	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100~	
性別	男性	14	2	1	1	4	2	3		1	
	女性	36			1	4	8	11	7	3	2

平均年齢 平均 84歳9ヶ月

男性 77歳3ヶ月

最高年齢者 102歳6ヶ月

最小年齢者 56歳2ヶ月

女性 87歳7ヶ月

④グループケアユニット別入所者数(ADL)

I, 歩行

グループ名	一般棟		認知棟	合計
	1F	2F	2F	
	まごころ	やすらぎ	ふるさと	
歩行	2	1	2	5
車椅子	13	14	18	45
合計	15	15	20	50

II, 入浴

グループ名	一般棟		認知棟	合計
	1F	2F	2F	
	まごころ	やすらぎ	ふるさと	
一般浴	2	1	4	7
器械浴	13	14	16	43
合計	15	15	20	50

3) 入院・外泊等の不在状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
不在延日	36	50	82	128	83	96	38	7	21	17	4	37	599
稼働率	97.6%	96.7%	94.5%	91.7%	94.6%	93.6%	97.5%	99.5%	98.6%	98.9%	99.7%	97.6%	96.7%

4) 給食の状況(平成23年3月31日現在)

行事給食の実施状況

月	内 容
4月	食卓会(選択メニュー 刺身または牛肉)・お花見(行楽弁当)・旧暦のひな祭り献立
5月	誕生会(赤飯・刺身など)・端午の節句おやつ・母の日おやつ
6月	誕生会(赤飯・金目鯛・西瓜など)・父の日おやつ
7月	誕生会(赤飯・牛肉巻きなど)・七夕素麺と天ぷら・土用の丑(うなぎ)・納涼祭(夏祭り)
8月	誕生会(赤飯・カレー煮付けなど)・スイカ割り・旧暦の七夕献立
9月	敬老会および誕生会(栗赤飯・秋鮭・里芋衣かつぎなど)・十五夜のお月見おやつ・彼岸のおはぎ
10月	運動会および誕生会(行楽弁当)・十三夜の献立とおやつ
11月	誕生会(B1グルメ 鶏モツ煮&ほうとう実演)・立冬のおやつ(甘酒)
12月	クリスマス会および誕生会(握り寿司&ケーキバイキング)・冬至の献立(かぼちゃ)・餅つき・年越しそば
1月	誕生会(赤飯・刺身など)・おせち料理・七草粥・蘭玉作り・どんどん焼きと甘酒
2月	誕生会(赤飯・ブリ照焼きなど)・節分の豆まきと甘酒
3月	誕生会(赤飯・菜花の料理)・ひな祭り献立・彼岸のぼた餅

主食	区分	ご飯	粥	ペースト	栄養 ゼリー食	経管 (胃ろう)	経管 (経鼻)	入院	合計
	人数(名)	10	30	3	1	3	3	0	50
	比率(%)	20	60	6	2	6	6	0	100

副食	区分	並	粗きざみ	きざみ	ミキサー	ペースト	栄養 ゼリー食	経管 (胃ろう)	経管 (経鼻)	入院	合計
	人数(名)	7	5	9	18	4	1	3	3	0	50
	比率(%)	14	10	18	36	8	2	6	6	0	100

5) 保健・医療の状況

①平成23年3月31日現在状況

措置 区分	入院中 人数	静養室 観察	褥瘡	酸素 使用者	点滴	経管栄養		吸引	投薬	食事介助		尿管留置 カテーテル
						胃ろう	経鼻			全介	半介	
	0	0	1	2	1	3	3	6	48	16	7	3

6) 平成22年度行事等実施状況

月	行事	会議	防災訓練
4月	花見遠足 花祭り たけのこ祭り	主任会議、職員会議、給食 会議、ショート会議、各通り 会議、処遇会議、請求会 議、感染症委員会、衛生管 理委員会、リスクマネジメント	火災訓練 通報・誘導・消火班に分かれ訓練 を実施
5月	バラ見遠足 誕生会	委員会は毎月開催 身体拘束廃止委員会は3ヶ 月に1回開催	避難器具の確認・体験 避難用滑り台の場所の確認。実際 の速さ・衝撃があるか体験する
6月	個別外出 あじさい見学 誕生会 リミック体操慰問	夏祭り実行委員会	利用者避難誘導訓練・緊急対応訓練 利用者の避難誘導訓練後、緊急 時対応訓練(酸素、応急処置等) を行う
7月	七夕飾り 誕生会 夏祭り ユニットクッキング	夏祭り実行委員会	火災訓練 通報・誘導・消火班に分かれ訓練 を実施
8月	スイカ割り 誕生会 施餓鬼供養	敬老会実行委員会	消火器具訓練 消火散水栓の使用方法的確認と 放水訓練の実施
9月	敬老会 誕生会	敬老会実行委員会 運動会実行委員会	非常災害時炊き出し訓練 非常時の食事提供に関して、その 準備方法や食材、器具の保管場 所や使用方法等の確認
10月	運動会 南部町福祉祭り	運動会実行委員会	緊急時対応訓練 急変時における酸素ボンベの使 用方法等の訓練
11月	B級グルメクッキング 誕生会 グリーンマーチング慰問		火災訓練 通報・誘導・消火班に分かれ訓練 を実施
12月	クリスマス会 餅つき 大掃除 誕生会 三船和子ショー	クリスマス会実行委員会	地震想定避難訓練 東海沖地震を想定した、避難、誘 導、救出訓練
1月	新年会 南部駅伝 どんど焼き・蕨玉作り 誕生会		火災訓練 通報・誘導・消火班に分かれ訓練 を実施
2月	豆まき 誕生会	予算委員会	
3月	誕生会		夜間非常招集訓練 火災時における職員の非常招集 訓練を実施

7) 職員研修

	内 容	講 師	参加人数
4月	救命救急法及びAED使用法について	峡南広域行政組合 消防本部	34名
5月	ほのぼのシステム活用法Ⅰ	事務主任	18名
6月	給食施設の衛生管理	峡南保健福祉事務所 衛生課長 大澤かおり	36名
7月	リスクマネジメント(薬について)	クオン薬局	20名
8月	事故防止について	リスクマネジャー	16名
9月	認知症の理解	みんなの家どんぐり 田中 淑子	30名
10月	職員交流会		
11月	ユニットケア研修	シャローム富士川 施設長 仲亀 秀樹	24名
12月	感染症について	看護師	21名
1月	ほのぼのシステム活用法Ⅱ	事務主任	15名
2月	身体拘束について	介護職員	13名
3月	介護保険施設の運営	施設長・事務主任	15名

毎月第3月曜日19:00から自由参加

平成22年度 事業実績報告書

社会福祉法人 富士厚生会
指定短期入所生活介護
指定介護予防短期入所生活介護

ショートステイ・ネオライフとみざわ

1) 事業実績報告（ショートステイ）

平成22年度のショートステイ利用実績は、年間利用実人員数が750名となり、前年度を下回りました。稼働率は74.9%で1人あたりの利用日数も減少してしまいました。原因としては本年度後半より体調を崩され、長期入院される方や亡くなられた方も多くキャンセルが多く見られたこと、また定期的にロングショートを利用されていた方達が特養や、老健への入所されたことも大きな原因と思われます。

私施設のショートステイは10床の内5床が認知棟になるため、一般棟対応の利用者様を5床で対応しなければならず、利用希望日が重なると受入ができないこともあるため、今後もより一層、御家族様や関係事業所と連携を図っていく所存です。

平成23年度は、さらに質の高いサービス提供を行うことを心がけ、利用者様、御家族様が安心して利用していただけるよう努力いたします。

ショートステイの状況

2) 平成22年度利用実績

利用者定員10名(予防ショート含む)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延人員	64	56	55	61	72	66	67	70	69	62	54	54	750
利用延日数	230	206	227	247	246	245	226	250	235	223	177	225	2,737
稼働率	76.7%	66.5%	75.7%	79.7%	79.4%	81.7%	72.9%	83.3%	75.8%	71.9%	63.2%	72.6%	74.9%
営業日	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日	365日

3) 介護度別利用状況

介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援 1	2	1	0	1	1	2	2	2	1	1	1	1	15
要支援 2	1	2	1	1	1	2	3	2	1	2	2	1	19
要介護 1	4	4	2	2	3	5	4	5	4	3	2	4	42
要介護 2	112	11	10	9	10	7	6	4	5	5	4	3	186
要介護 3	7	6	7	7	8	9	8	10	11	10	10	8	101
要介護 4	5	5	5	6	4	4	6	6	6	6	6	4	63
要介護 5	10	6	9	8	12	9	9	9	8	7	5	9	101
合計	141	35	34	34	39	38	38	38	36	34	30	30	527

※ 年間利用延人員 750名 前年度 857名

※ 1日平均=7.5名 1日平均=8.2名

平成22年度 事業実績報告書

社会福祉法人富士厚生会

指定居宅介護支援事業所・ネオライフとみざわ

指定居宅介護支援事業所・ネオライフとみざわ 平成22年度事業報告書

○ ケアプランの作成

益々進む峡南地域の少子高齢化。老老介護や認知介護の世帯増加により家族の理解力の低下も問題になっている。ご理解いただけるように説明し、納得していただきサービス担当者会議やモニタリングを効率良く開催して、本人や御家族が住み慣れた地域で暮らし続けることができるような支援を心がけてきた。

また、多様化する困難ケースの対応については、南部町包括支援センターやサービス事業所と連携とりながら、命の安全を確保することを第一に考えて対応させていただいた。

○ 居宅介護支援事業所研修会参加状況

平成22年6月28日 山梨県介護サービス事業所集団指導

「平成22年度居宅介護支援、介護保険サービス事業所の集団指導
について」「感染症について」

平成22年9月2日 南部町介護支援専門員及びサービス提供事業所研修会

「感染予防の基礎知識、技術について」

平成22年9月28日 山梨県介護支援専門員協会峡南支部研修会

「高齢者虐待の現状について」
身延町すこやかセンター

平成22年10月4日 山梨県介護支援専門員協会 第1回研修会

山梨県立文学館
「認知症の人のためのケアマネジメント」

平成22年10月13日 自殺対策人材育成研修会

山梨県看護協会教育研修センター
「山梨県の高齢者の自殺の実態と予防」

平成23年2月23日 山梨県介護支援専門員協会 居宅支部会研修会

「住み慣れた地域で暮らし続ける支援を行うために私たちが今できること」

山梨県立文学館

(平成23年3月11日の東北関東大震災の影響で、年度末に予定されていた山梨県介護支援専門員協会と南部町包括支援センター主催の研修会が取り消しとなった)

○ 保健・医療・福祉関係機関との連携

南部町地域包括支援センター主催による研修会 年3回

富士厚生会ケアマネ部会 年3回

各サービス事業所とのカンファレンス 適時開催

南部町ケアマネ学習会 適時開催

居宅介護支援費提出状況 別紙参照

別紙

平成22年度居宅介護支援費提出状況一覧						
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	25	12	7	8	11	63
5月	24	15	6	7	10	62
6月	23	15	7	7	10	62
7月	23	14	7	8	11	63
8月	24	15	6	8	10	63
9月	24	15	9	7	7	62
10月	26	13	11	7	6	63
11月	29	11	9	6	7	62
12月	28	15	10	7	7	67
1月	25	19	8	7	5	64
2月	22	17	11	3	6	59
3月	21	17	9	6	10	63
合計	294	178	100	81	100	753

(単位 人)

* 毎月の目標は70人

*平均稼働率89 % (前年度は89%)

*要介護度1～2 62 % (前年度は 62%) 要介護度3～5 38 % (前年度は 38%)

平成22年度事業実績報告書

社会福祉法人 富士厚生会
指定地域密着型認知症対応通所介護
デイサービスセンター・菜の花の里

1) 事業報告

平成22年度は、ご家族や各事業所への働きかけや情報を得ることにより現在利用されている方達の継続はありますが、体調不良による入院や長期老健などへの入所等により年度後半の利用減少が顕著でありました。

平成22年度の稼働率は56%となっています。

平成23年度は利用者確保と利用日数の増加を目指し、ご家族や各事業所のケアマネージャー、行政などへ働きかけをしていき新規利用者の確保に努め、これからも地域密着型認知症対応型の中、家族との連絡を密に個別介護、安心していただける介助、ゆとりのある介護ケアと安心安全な入浴、目や味を楽しませる食事等に心がけていき、魅力のある楽しみを見いだして頂けるような事業所を目指し研究、勉強し、地域の方々や関係機関の信頼を得ながら、利用者やご家族、各事業所のケアマネージャーから選んでいただける事業所にしていきます。

指定通所介護事業所「デイサービスセンター・葉の花の里」
平成22年度事業実績報告書

1. 月別利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日数	26	26	26	27	26	26	26	26	27	24	24	27	311
要介護1	28	28	21	22	5	0	0	16	15	9	8	10	162
要介護2	59	62	65	49	59	51	41	44	52	50	57	41	630
要介護3	23	27	36	62	56	44	47	47	50	44	37	42	515
要介護4	13	21	11	14	14	21	17	19	16	21	20	9	196
要介護5	61	65	58	59	60	59	59	44	38	34	30	50	617
計	184	203	191	206	194	175	164	170	171	158	152	152	2120
1日あたり平均利用者数	7.1	7.8	7.3	7.6	7.4	6.7	6.3	6.5	6.3	6.5	6.3	5.6	6.7
稼働率(%)	59	65	61	64	62	56	53	54	53	55	53	47	57

2. 要介護度別利用状況

(単位:人)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	女	3	3	2	2	1	0	0	2	1	1	0	0
要介護2	男	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	2	1
	女	6	6	6	5	6	5	4	3	4	4	4	4
要介護3	男	1	12	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
	女	2	2	3	4	4	4	4	4	4	4	3	3
要介護4	男	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	女	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	3	1
要介護5	男	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	0	1
	女	6	6	6	6	6	6	6	5	4	4	4	5
合計		24	35	25	25	24	23	21	21	20	20	19	18

3. 平成22年度行事実施状況

月	行 事
4月	お花見 お花祭り
5月	藤の花
6月	あじさい公園散策
7月	夏まつり
8月	七夕飾り 七夕まつり
9月	敬老会（感染症予防のため自粛）
10月	運動会（感染症予防のため自粛）
11月	紅葉見物
12月	クリスマス会
平成23年1月	新年会
2月	節分豆まき
3月	ひな祭り会

平成22年度 事業報告書

社会福祉法人 富士厚生会
指定訪問介護
指定介護予防訪問介護
ヘルパーステーション・さつき

1) 事業実績報告（ヘルパーステーション・さつき）

平成22年4月登録1名退職にしましたが、常勤1名・パート2名・登録3名でしたので、利用要望の多い朝、昼の時間帯の対応が出来ましたので、業績を少しですが伸ばすことが出来ました。

新規利用（14名）されても・入所（3名）・入院（5名）・死亡（11名）他のサービス利用出来るまで一時的にヘルパー利用される利用者様も多く、短期管利用となりました。

居宅介護支援事業所等との連携をかかさぬよう努め、情報交換をしながら利用者様の掘り起こしを行いました。

空き時間は訪問介護員同士、利用者様の情報の共有化、同じサービスを提供するための話し合いをおこないながら、皆様のニーズに応えられるよう専門的研修へ参加、知識・基本的技術を身につけながら、心身の変化を見逃さず、適切な判断が出来るよう、さらなる向上を目指し、利用者様・ご家族・近隣の皆様に愛され、信頼されるヘルパーステーション・さつきをめざしております。

「ヘルパーステーションさつき」
平成22年度事業実績報告書

1). 月別利用状況

(単位:時間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身 体	135:00	116:30	126:00	135:30	124:00	95:30	86:00	99:30	108:00	72:30	87:30	133:00	1319:00
身体生活	70:30	60:00	50:00	59:30	103:00	80:00	62:30	69:30	62:00	61:00	54:00	78:00	810:00
生 活			1:00	10:30	11:00	4:00	14:30	56:30	71:00	39:00	31:00	20:00	258:30

2). 月別利用状況 (介護予防)

(単位:時間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予 防 1	14:00	11:00	14:00	18:00	9:00	10:00	9:00	8:00	8:00	8:00	7:00	10:00	126:00
予 防 2	31:00	34:00	32:00	49:00	49:30	52:00	49:30	51:00	47:30	37:00	32:00	25:00	489:30
予 防 3		13:00	13:00	13:00	13:00	9:00		9:00	11:00	8:00			89:00

3). 要介護度別利用状況

(単位:回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	24	24	26	30	49	45	40	51	38	32	31	27	417
要支援2	21	34	37	49	31	43	25	26	29	21	8	8	332
要介護1	54	34	29	26	36	22	27	82	97	85	77	99	668
要介護2	7	8	6	7	23	41	43	39	45	48	44	39	350
要介護3	23	24	9	9	10	6	6	8	7	6	14	38	160
要介護4	32	37	41	55	72	40	23	14	30	10	16	17	382
要介護5	55	40	60	69	54	38	33	49	51	18	19	41	522
合 計	216	201	208	245	275	235	197	269	297	220	209	269	2847

4). 要介護度別利用状況

(単位:回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	4	4	4	5	6	6	5	6	6	5	5	4	61
要支援2	3	4	4	5	3	4	3	3	3	3	1	1	33
要介護1	5	4	4	3	4	3	4	7	7	6	6	7	61
要介護2	1	2	1	2	2	3	3	4	3	3	3	4	33
要介護3	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	17
要介護4	2	2	3	4	4	5	3	2	3	2	1	2	33
要介護5	5	3	5	6	7	3	2	4	3	1	1	3	44
合 計	22	21	22	26	27	25	21	27	26	21	19	23	284

平成22年度

事業実績報告書

社会福祉法人 富士厚生会

特別養護老人ホーム シャローム富士川

1. 事業実績報告

平成22年度は、ご入居者様に対してはユニットやフロア行事、職員に対しての研修等の教育を充実させました。今年もインフルエンザ等の感染症が社会で大流行した為、外出の規制、面会の規制対応を行いました。感染症は発生しませんでした。ご入居者様のメンタル面が損なわれる可能性があり、職員でその解消方法を検討しました。生活をマンネリ化させないことで、ストレスの軽減を図ろうと、各ユニット内で家庭の味を堪能していただけるよう、寿司、煮物等の調理を前年度より増やし、またフロアでは、普段とは別の環境を提供することを目的とし喫茶店の茶ルームを利用した居酒屋行事や、屋外にてフロア全体のご入居者様を対象とした流しそうめんを行い、ご入居者様やご家族様から良い反響が得られました。

ご入居者様のケアの充実を図る為、外部主催のユニットリーダー研修や認知症実践者研修等に参加し、施設内部では、施設職員全員が参加対象の全体会議で、外部主催の研修内容について講義を行ったり、感染症研修や、富士厚生会の介護主任を講師に呼び、自閉症等の研修を行い、職員の新しい技術知識の向上を図りました。

施設状況は、介護、看護面双方から、入居者様の健康状態の把握に努めました。食事面では、食事摂取が少ない方の為に高カロリーゼリー食を新たに提供し栄養不足にならないよう管理栄養士等と連携を図り改善に努めました。また、持病をお持ちの方や健康な方でも、定期的に血液検査等を行うことで、病状が悪化する前に病院受診対応を行った為、入院者が前年度より2名減少し、稼働率に係わる入居退去者数も、前年度に比べ約2分の1減少しました。平成23年度もご入居者様が安全に安心して過ごして頂けるよう努めていきたいと思っております。

2. 入居者の状況（平成23年3月31日現在）

(1) 入退所状況（定員80名）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入 所	2	2	0	3	1	2	0	1	0	1	0	0	12
退 所	2	1	1	2	2	1	0	1	0	1	0	0	11
現 員	79	80	79	80	79	80	80	80	80	80	80	80	

入退所理由

入所	待機者リスト	～	12名		計12名
退所	死亡	～	5名		
	長期入院	～	6名		
	他施設	～	0名		
	家庭	～	0名		計11名

(2) 市町村別

市町村	男	女	合計
富士市	8	42	50
富士宮市	5	10	15
静岡市	1	6	7
南部町	2	6	8
計	16	64	80

(3) 年齢別

定員性別	在所有者数		年齢階級別							計
	計80	64歳以下	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95以上	
男		0	0	3	3	4	4	1	1	16
女		0	0	1	8	11	23	15	6	64

平均年齢 86.3歳

(4) 要介護度別

要介護度	男	女	計	平均介護度 3.625
要介護 1	1	3	4	
要介護 2	3	8	11	
要介護 3	5	13	18	
要介護 4	2	23	25	
要介護 5	5	18	22	
合計	16	64	80	

3. 入院の状況

(1) 入院後の経過

入院者	退所後の内訳				
	退院	入院中	転院	長期入院	死亡
21	14	0	0	1	6

※ 重複者あり

(2) 月別稼働率 ※ 1日平均不在者数 2.5人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
稼働率	97.7%	94.5%	92.0%	96.3%	97.3%	98.6%

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
97.5%	96.2%	97.5%	98.0%	98.6%	98.6%	96.9%

4. 食事摂取状況

主		食
ご飯	34	42.5%
粥	33	41.2%
栄養食	3	3.8%
胃ろう	10	12.5%

副		食
常食	32	40.0%
きざみ	19	23.7%
超キザミ	16	20.0%
ゼリー食	1	1.3%
栄養食	2	2.5%
胃ろう	10	12.5%

5. 平成22年度事業実施状況

月	行 事	内 容	施設会議
四 月	花見遠足 防災訓練 誕生会 ハーモニカ演奏ボラ ユニット調理	各ユニットにて企画・実施 ユニット行事・調理 由比ハーモニカクラブ ケーキ	主任会議 全体会議 リーダー会議
五 月	22年度開設記念 車椅子ダンスボラ ハーモニカ演奏ボラ 防災訓練 誕生会 ユニット外出 ユニット調理 衣類販売	式典、懇談会、飲食コーナーなど 矢車草の会 ふようハーモニカホールム ユニット行事・調理 ユニット行事 動物園 寿司屋・お好み焼き 外部会社来所	全体会議 主任会議 リーダー会議
六 月	防災訓練 誕生会 ハーモニカ演奏ボラ オカリナ演奏 パン屋 ユニット外出	厨房横屋外スペースにて ユニット行事・調理 由比ハーモニカクラブ オカリナの会 パンの移動販売者来所 道の駅楽座等	主任会議 全体会議 リーダー会議
七 月	七夕 防災訓練 誕生会 ユニット外出 シャローム富士川祭り ユニット調理	各ユニットへ飾り ユニット行事・調理 寿司屋 屋外にて開催・盆踊り・模擬店・手相などの催 しで家族、地域との交流を図った 餃子・そうめん・カレー	主任会議 全体会議 リーダー会議
八	施設鬼供養 流しそうめん 防災訓練 誕生会	IFホールにて供養 流しそうめんを屋外にて実施 ユニット行事・調理	主任会議 全体会議 リーダー会議

月	ユニット外出 ユニット調理 映画会 ピアノボランティア 大正琴ボランティア 富士市消費者啓発講座	寿司屋 かき氷・そうめん・唐揚げ ほうらい3丁目にて開催 フルールの会 富士川大正琴の会 富士市警察官講座で来所	
九 月	敬老会 防災訓練 誕生会 ユニット調理 花火大会	式典、食事会など ユニット行事・調理 天ぷら・五目御飯・プリンお好み焼き 屋外で開催	主任会議 全体会議 リーダー会議

十 月	オカリナボランティア 防災訓練 誕生会 ユニット調理 映画会	オカリナアンサンブルふじさん ユニット行事・調理 ケーキ・餃子・寿司 ほうらい3丁目にて実施	主任会議 全体会議 リーダー会議
--------	--	---	------------------------

十一 月	体育祭 防災訓練 誕生会 ユニット調理 ピアノボランティア	各階を使用し、運動イベントを開催 ユニット行事・調理 パパロア・白菜漬け・トンカツ・メンチカツ メルティールの会	主任会議 全体会議 リーダー会議
---------	---	---	------------------------

十二 月	シャローム作品展 クリスマス会 餅つき 御用納め 防災訓練 誕生会 ユニット調理 蕎麦打ち	当ギャラリーにて、各ユニット毎での利用者・職員の創作品を1月中旬まで展示 各ユニットにて実施 玄関前にて行い、そのままお汁粉の振る舞い 1F会議室にて昼食 ユニット行事・調理 プリンアラモード・炊き込み御飯・にぎり寿司 ・茶碗蒸し・おでん・焼き肉 年越し蕎麦をパブリックスペースを使用し実施	主任会議 全体会議 リーダー会議
---------	--	--	------------------------

一 月	どんど焼き 防災訓練 誕生会 ユニット調理 パン屋 ハーモニカボランティア 居酒屋 車椅子ダンス	建物北側広場にて実施 ユニット行事・調理 鍋焼きうどん・おでん・焼きそば・カレー・ラーメン パンの移動販売者来所 由比ハーモニカボランティア 喫茶茶ろ〜むにて開催 矢草草の会	主任会議 全体会議 リーダー会議
--------	---	---	------------------------

二 月	節分・豆まき 防災訓練 誕生会 ユニット調理 踊りボランティア	各ユニットにて行う ユニット行事・調理 フルーツポンチ・ホットケーキ・牡丹餅・チーズケー キ・しゅうまい・お好み焼き・焼きそば・豚汁 きずな来所	主任会議 全体会議 リーダー会議
--------	---	--	------------------------

	新年会 接遇マナー研修	1階コミュニティーホールにて実施 富士厚生会研修	
三 月	B級グルメ ひなまつり 家族会 防災訓練 誕生会 ユニット外出 ユニット調理	1階コミュニティーホールにて、ご当地グルメ 調理、特大牡丹餅作り 各ユニット毎に甘酒とあられの振る舞い ご入居者家族等で懇談会開催 ユニット行事・調理 煮豚・お好み焼き・ムースプリン・餃子・たこ焼き	主任会議 全体会議 リーダー会議

平成22年度

事業実績報告書

社会福祉法人 富士厚生会
ショートステイ シャローム富士川

平成22年度 事業実績報告

平成22年度のショートステイシャローム富士川の前年度比延利用者人数は、3432人・稼働率94.0%といずれも前年度より大きく上回ることができた。

平成23年度も、さらに稼働率をあげるべく、各居宅介護支援事業所等との連携を強化し、新規利用者の獲得に力をいれたい。

そのためには、既存のご利用者様からの評価をいただけるよう施設内でのレクリエーションや行事の充実を図り、ご利用者様を通じて各介護支援専門員からの信頼を得ることが重要だと思われる。また、今後も継続的にご利用者様が安心して過ごせるように処遇の見直しを行い、より良いサービスを提供できるよう努めていきたい。

利用者日課表

6:00	
6:30	起床
	洗面
7:30	朝食
	オムツ交換

8:00	バイタルチェック
9:00	
	入 浴
10:00	
	フリータイム・レクリエーション運動
11:00	体操
11:45	昼 食
12:00	口腔ケア（個人の時間）
12:30	入浴・レクリエーション（個人の時間）
13:45	おやつ時間
15:00	個人の時間
16:00	夕食準備
17:00	
17:30	夕 食
17:45	オムツ交換
19:00	ダイニングルームの消灯
21:00	オムツ交換
24:00	

※排泄・オムツ交換は利用者様に合わせて随時介助・交換をしています。

平成22年度 年間行事実績

月	行 事
4月	ハーモニカクラブ慰問・ユニット調理(ケーキ)・誕生日会・防災訓練
5月	・ハーモニカクラブ慰問・車椅子ダンス慰問・防災訓練 ・節句・シャローム富士川開設記念式典・誕生日会
6月	・ハーモニカクラブ慰問・オカリナ演奏慰問・屋外バーベキュー ・防災訓練・誕生日会
7月	・シャローム富士川夏祭り・七夕飾り・防災訓練・誕生日会
8月	・施餓鬼供養・防災訓練・誕生日会
9月	・敬老会・防災訓練・脳トレーニング・誕生日会
10月	・防災訓練・誕生日会
11月	誕生日会・防災訓練
12月	・クリスマス会・餅つき大会・防災訓練・誕生日会・喫茶 ・衣類販売・シャローム富士川作品展
1月	・どんどん焼き・誕生日会・防災訓練
2月	節分・誕生日会・防災訓練
3月	ひな祭り・誕生日会・防災訓練

※レクリエーション(習字・絵はがき作り・手芸等)を、その日のご利用者様に要望を聞き実施。

平成22年度 介護度別利用実績

介護 度 月	支援 1	支援 2	1	2	3	4	5	合計	稼働率 (%)
4月	3	7	10	65	102	47	9	243	81.0%
5月	0	0	16	95	126	46	11	294	94.8%
6月	7	4	4	99	113	33	10	270	90.0%
7月	4	10	8	114	99	35	7	277	89.4%
8月	6	0	28	113	108	41	18	314	101.3%
9月	0	0	26	88	81	48	13	256	85.3%
10月	10	5	19	112	124	51	16	337	108.7%
11月	6	2	28	79	123	51	7	296	98.7%
12月	3	0	34	72	109	36	10	264	85.2%
1月	0	2	54	73	108	37	6	280	90.3%
2月	6	3	39	95	92	29	4	268	92.4%
3月	3	0	34	104	124	60	8	333	107.4%
H22年 度 合計	48	33	300	1109	1309	514	119	3432	94.0%
H21年 度 合計	/	/	/	/	/	/	/	/	86.3%

平成22年度

事業実績報告書

社会福祉法人 富士厚生会

デイサービスセンター・にこにこホーム

平成22年度事業実績報告書

地域の方々、御利用者様、御家族様より信頼され、くつろげる空間作りをめざし、御利用者様の心身機能の維持向上又、御家族様の身体的、精神的負担の軽減を図ってまいりました。さらに地域の福祉サービスの拠点を目指して、福祉教育の場を提供し地域に根ざしてまいりました。

御利用者様、御家族様のニーズの掘り起こし、ニーズの把握と実施に努めてまいりました事により57.4%の稼働率を上げることが出来たと自負しております。

また、ここ最近の傾向として、シャローム富士川の近隣の方の利用回数も増えてきたことなどから地域に根付いてきたものと確信しております。

1. 月別利用状況 延べ人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
稼働日数	26	26	26	27	26	26	26	26	27	24	24	27	311
延べ人数	443	444	434	466	456	465	468	461	463	389	401	469	5359
1日あたり平均利用者数	17.0	17.0	16.7	17.2	17.5	17.9	18.0	17.7	17.1	16.2	16.7	17.4	17.2
稼働率 (定員30名)	56.8	56.9	55.6	57.5	58.4	59.6	60	59.1	57.1	54	55.6	57.9	57.4

2. 要介護度別利用状況 実人数 (単位:人)

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
要支援1	男												0
	女	2	5	4	4	3	4	4	3	4	4	4	4
要支援2	男												
	女	33	25	25	29	25	23	33	32	32	35	34	34
要介護1	男	11	11	12	14	25	28	28	29	21	13	12	12
	女	57	56	62	67	61	71	66	49	45	31	34	44
要介護2	男	62	52	51	57	59	57	49	46	75	67	87	96
	女	74	84	71	64	71	72	76	76	90	74	62	82
要介護3	男	22	20	24	26	11	14	12	12	2	2	3	4
	女	103	96	94	103	101	97	107	114	109	90	88	96
要介護4	男	15	28	25	31	39	33	22	28	24	21	25	30
	女	55	57	60	63	55	66	68	69	58	46	45	51
要介護5	男	0	0	0	5	5	0	3	3	3	6	7	14
	女	9	10	6	3	1	0	0	0	0	0	0	0
総合計	男	110	111	112	133	139	132	114	118	125	109	134	156
	女	333	333	322	333	317	333	354	343	338	280	267	311
	合計	443	444	434	466	456	465	468	461	463	389	401	467

3. 平成22年度行事実施状況

実施年月	行事名	参加延べ人数
4月	花植え	20 名
5月	クッキング	42 名
6月	カラオケ大会	33 名
7月	七夕まつり	108 名
8月	にこにこ夏祭り	40 名
9月	敬老会	68 名
10月	運動会	110 名
11月	秋の収穫祭	33 名
12月	クリスマス会	85 名
1月	新年会	88 名
2月	節分・豆まき	18 名
3月	ひな祭り	64 名

毎月：誕生会あり

平成22年度
事業実績報告書

社会福祉法人 富士厚生会
居宅介護支援事業所 シャローム富士川

平成22年度 事業実績報告

居宅介護支援事業所 シャローム富士川

平成22年5月に佐野節夫介護支援専門員が入社し、望月管理者兼務介護支援専門員と2名で稼働してきました。居宅介護支援事業所として適切な利用者様への介護支援、的確な介護保険請求、また、富士市役所介護保険課、包括支援センターとの新たな協力、連携体制の構築に努力を積み重ねました。そして、様々な研修、講演など参加し社会資源の把握に努めご利用者様の担当人数の確保や市町との友好関係を保ちながら、西部包括支援センターと予防委託契約施行し予防の支援業務も施行しました。

富士厚生会、シャローム富士川における地域住民の期待はとても大きく、少しでも地域の皆様のお役に立て、かつケアマネ業務を全う出来るように努力しています。

1. 平成22年度請求利用者状況

介護支援 (法定持ち人数1人×35人)

ケアマネ担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
望月	33	34	32	33	35	35	34	33	35	31	31	36	402
佐野			2	3	5	7	8	9	9	10	7	10	72
合計	33	34	34	36	40	42	42	42	44	41	38	46	472

予防支援 (1人×8人)

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
望月				1	1	3	4	4	4	5	5	27
合計				1	1	3	4	4	4	5	5	27

2. 平成22年度 相談(苦情)窓口業務を行いました。

内訳 電話件数 (30件)
シャローム富士川に相談に来る。(3件)

内容 1. 包括、他事業所からのケアマネ依頼 (16件)
2. 電話によるケアマネ依頼 (13件)
3. 一人暮らし事故報告 (1件)
4. 包括がらみ(虐待予想) (1件)
5. 住宅改修相談、ペットレンタル相談 (2件)

3. 富士厚生会の行事参加

- ① 定例会出席 (毎月始め)
- ② ケアマネ部会 年4回
- ③ 内部監査 H22. 8. 23 (月) 14:00~16:30
指摘事項: モニタリング内容について聞き取り名の書き方を
家族の誰なのか細かく記入する。
- ④ コミュニケーションマナー研修会 (接遇マナーについて)
H23. 2. 10 (木) 富士宮文化会館にて
講師: 森田素子先生
- ⑤ 全体会議参加
- ⑥ 駅伝応援参加

4. シャローム富士川全体の行事参加

- ① 主任会議、リーダー会議、全体会議出席 (毎月1回)
- ② 行事参加
 - 5月 シャローム富士川開設記念
 - 7月 シャローム夏祭り
 - 8月 富士川夏祭り、ほうらい(3F)花火大会
 - 9月 敬老会
 - 12月 餅つき大会
- ③ デイサービス見守り、ショート送迎手伝いなど行いました

5. 研修、講習 参加しました。(別紙参照)

- ① 平成22年介護支援専門員現任研修参加 富士高齢者地域支援センター主催
 - (第1回)H22. 8. 23 (月) (13:30~15:30) フィランセにて
 - (第2回)H22. 10. 12 (火) //
 - (第3回)H22. 11. 15 (月) //

- ② 平成 22 年度西部包括支援センター，小地域ケア会議参加
 (第 1 回)H22. 6.18 (金) 富士川支所 13:30～15:00
 (第 2 回)H22.11.18 (木) 加島の郷 //
- (第 3 回)H23. 2.16 (水) 富士川支所 //
- ③ 平成 22
- ④ 年度富士市介護支援専門員連絡協議会総会及び研修
 H22. 6. 12 (土) フィランセ 13:30
 講演 「中越大震災に対する介護保険制度を振り返って」
 ～ケアマネ達の災害時における活躍～
 講師：新潟県小千谷市 吉原昌隆様
- ⑤ 平成 22 年度 第 1 回認定調査員新任研修参加
 H22. 4. 23(金) 10:00～16:00 静岡市商工会議所にて
- ⑥
- ⑦ H21. 8. 2 (土) フィランセ 13:30～15:00
 「神経難病 (パーキンソン病等) のリハビリについて他
- ⑧ 平成 22 年度ケアマネ研修 富士市介護支援専門員連絡協議会
 これからの地域包括支援センターにおけるライフサポートワーク
 講師：全国小規模多機能事業者連絡会副会長
 宮島 渡様
- ⑨ 富士市高齢者虐待防止講演会出席 13:30～15:30 (フィランセ)
 「認知症高齢者の生活と権利を守る」—虐待防止を焦点に—
- ⑩ 平成 22 年度介護保険サービス提供事業者説明会(集団指導)の実施
 H22. 10. 5 (火) 沼津市民文化センター13:00～16:15
- ⑪ 主任介護支援専門員との意見交換会出席
 H22. 11. 17(水) 15:30 ～17:00 富士市高齢者地域包括支援センター
- ⑫ 平成 22 年度難病患者等ホームヘルパー養成研修兼介護支援専門員
 難病研修受講 H23. 1. 27 (木) 沼津商工会議所 13:00～17:00
 静岡県健康福祉部医療健康局疾病対策課
 講師：国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター統括診療部長
 溝口功一 先生
 国立大学法人浜松医科大学第一内科
 寺田達弘 先生

5. 介護サービス情報の公表」調査(情報開示)

平成 23 年 2 月 15 日(火) 10:00～

調査会社 社団法人日本介護福祉会 静岡県支部 霜出真留美様

指摘事項：同意書の内容を検討する。(説明文が不足)

ネオライフの居宅に相談し訂正しました。

6. 実地監査について

平成 23 年 2 月 23 日 10:45～12:30

県職員介護指導課 高橋康雄様

富士市介護保険給付 鈴木邦広様 計 2 名

対応職員 入月相談員、望月で対応しました。

講評：書類関係は概ね出来ているので問題はありません。

居宅の業務場所をわかりやすく、苦情窓口などしっかり明記する

(看板設置等)

尚、下記の通り口答指導がありましたので改善します。

1. 独居利用者の支援経過の書き方を「独居確認」と記入する。
2. フェースシートは自分達が使いやすい物でよい、居宅支援事業所が何ヶ所かあるので統一した方がよい。課題分析はその都度必要
3. 新しいプラン(更新)を作る時も、モニタリングの中に記入しておく
とよい。
4. 事故対策マニュアルを作っておく。

平成22年度

事業実績報告書

社会福祉法人 富士厚生会

ユニット型地域密着型介護老人福祉施設 なかざと

1. 事業報告

平成22年度は、なかざと基本理念を職員ひとり一人が念頭におき、御利用者様はもちろんのこと、御家族様、地域の皆様方とともに歩んでいける施設作りをしてまいりました。

御家族様、地域の方々を含めたアルプミンの研修会や腸内細菌の研修会、緊急時に備えた地域の方々を含めたAEDの研修会など、研修を数回開き、「なかざと」という施設を理解していただくとともに御家族様、地域の方々との繋がりを密にしてまいりました。また家族会を企画し、職員一人ひとりの思いや目標などを発表させていただき、御家族様と職員一人ひとりの関係も深められたと感じております。

広報活動においては、毎月「ふぉーゆーれたー」を発行し、日頃の御利用者様の活動している姿を写真に納め、御家族様、運営推進委員会の委員の方々への送付、施設内掲示板を使っての紹介をさせていただいたことで、施設が開設し3年を迎えた現在、なかざとが地域に根付き始め、地域の方々に受け入れられていることが実感できた年度となりました。

2. 入所者の状況

(1) H22年度入退所状況（平成22年4月1日～平成23年3月31日、定員29名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入 所	0	0	0	1	0	0	3	0	2	1	0	0	7
退 所	0	0	0	1	0	0	3	0	2	1	0	0	7
現 員	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	348

退所理由

死亡のため・・・5名

病院への入院を希望したため・・・2名

(2) 年齢別（平成23年3月31日現在）

	在所有者数		年 齢 階 級 別							
	計	29	64歳以下	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95以上
性別	男性	6	0	0	0	1	2	2	1	0
	女性	23	0	0	2	3	3	7	4	4

平均年齢

平均 86歳

(最高 101歳9ヶ月 ・ 最小 70歳1ヶ月)

(3) 要介護度別（平成23年3月31日現在）

平均介護度 3.97

要介護度	男性	女性	計
要介護 1	0	0	0
要介護 2	1	1	2
要介護 3	0	7	7
要介護 4	2	8	10
要介護 5	3	7	10
合 計	6	23	29

(4) 認知症度別 (平成23年3月31日現在)

認知度	男性	女性	計
I	1	0	1
II a	0	1	1
II b	1	3	4
III a	1	13	14
III b	1	3	4
IV	2	3	4
M	0	0	0
合計	6	23	29

(5) 障害レベル別 (平成23年3月31日現在)

障害レベル	男	女	計
J1	0	0	0
J2	0	0	0
A1	1	2	3
A2	0	2	2
B1	1	4	5
B2	2	11	13
C1	0	0	0
C2	2	4	6
合計	6	23	29

3. 稼働率の状況 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用延人数	870	897	856	851	890	856	857	870	871	881	812	899
入院延日数	0	2	14	47	9	14	11	0	27	17	0	0
外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
稼働率	100	99.8	98.4	94.7	99.0	98.4	98.5	100	96.9	97.8	100	100

年間利用延べ人数：10410人 入院延べ日数：141日 外泊：1日

年間稼働率：98.6%

※入院、外泊については施設にいなかった日を記入してあります。

4. 食事摂取状況 (平成23年3月31日現在)

主	食
ご飯	16人 56%
粥	5人 17%
ゼリー粥	5人 17%
胃ろう	3人 10%

副	食
並	8人 27.5%
粗キザミ	8人 27.5%
キザミ	2人 7%
超きざみ	4人 13%
ペースト	4人 13%
胃ろう	3人 10%

5. 平成22年度事業実施状況

月	行事等	備考	施設会議
四月	回診 歯科往診 防災訓練 映画会 花見 クッキング ほほ笑み喫茶 施設内外清掃 アルブミン研修会	火災発生による避難訓練 母べえ 広見公園 ユニットするが(ホットケーキ) 地域住民含む	主任・リーダー会議 感染症委員会 身体拘束委員会 給食会議 リスク委員会 ユニット会議
五月	回診 歯科往診 防災訓練 映画会 クッキング 誕生会 ほほ笑み喫茶 施設内外清掃	火災発生による避難訓練 ドリフターズ ユニットふじ(ピザ) ユニットするが(すいとん) ユニットあしたか(ケーキ)	主任・リーダー会議 感染症委員会 身体拘束委員会 給食会議 リスク委員会 ユニット会議 運営推進委員会
六月	回診 歯科往診 懇話会 防災訓練 映画会 パーペキュー ほほ笑み喫茶 腸内細菌研修会 外出 誕生会 クッキング 施設内外清掃	火災発生による避難訓練、夜間召集訓練 必殺仕事人 地域住民含む ユニットふじ(江尾公園) ユニットあしたか(ケーキ) ユニットするが(パームクーヘン) ユニットあしたか(ゆでじゃがいも)	主任・リーダー会議 感染症委員会 身体拘束委員会 給食会議 リスク委員会 ユニット会議
七月	回診 歯科往診 防災訓練 映画会 七夕飾り 流しそうめん ほほ笑み喫茶 誕生会 外出 外食 施設内外清掃	火災発生による避難訓練 服部半蔵最後の戦い ユニットするが(ホットケーキ) ユニットふじ(入道樋門公園) ユニットするが、あしたか(イオン富士店)	主任・リーダー会議 感染症委員会 身体拘束委員会 給食会議 リスク委員会 ユニット会議 運営推進委員会
八月	回診 歯科往診 防災訓練	火災発生による避難訓練	主任・リーダー会議 感染症委員会 身体拘束委員会

月	映画会 鬼ヶ島フェスタ 花火大会 AED講習会 内部監査 グリーンバンク監査 施餓鬼供養 クッキング ほほ笑み喫茶 施設内外清掃	深夜食堂 地域住民含む ユニットふじ (かき氷) ユニットするが (フルーツポンチ)	給食会議 リスク委員会 ユニット会議
九月	回診 歯科往診 防災訓練 敬老会 職員健診 富士市集団指導 クッキング ほほ笑み喫茶 施設内外清掃 懇話会	地域防災訓練参加 東海地震想定総合防災訓練 夜間想定訓練 ユニットあしたか (ちらし寿司) ユニットするが (心太)	主任・リーダー会議 感染症委員会 身体拘束委員会 給食会議 リスク委員会 ユニット会議 運営推進委員会
十月	回診 歯科往診 防災訓練 開設記念、家族会 誕生会 外出 施設内外清掃 ほほ笑み喫茶	火災発生による防災訓練 ユニットふじ (イオン富士店) ユニットふじ (ピアゴ中里店)	主任・リーダー会議 感染症委員会 身体拘束委員会 給食会議 リスク委員会 ユニット会議
十一月	回診 歯科往診 防災訓練 床磨き 産業医研修 慰問 ショッピング 外出 ほほ笑み喫茶 施設内外清掃	社会福祉施設防災の日による防災訓練 睡眠について 岩松北ハーモニカバンド ユニットふじ (イオン富士店) ユニットふじ (大棚の滝)	主任・リーダー会議 感染症委員会 身体拘束委員会 給食会議 リスク委員会 ユニット会議 衛生委員会 運営推進委員会
十二月	回診 歯科往診 懇話会 防災訓練 映画会 クリスマス会 餅つき 外出	夜間想定訓練 (地域住民含む) 釣りばか日誌19、影武者 ユニットするが (不二家レストラン)	主任・リーダー会議 感染症委員会 身体拘束委員会 給食会議 リスク委員会 ユニット会議 衛生委員会

	誕生会 クリスマス会 床磨き 施設内外清掃	ユニットあしたか (ケーキ) ユニットふじ	
一月	回診 歯科往診 防災訓練 お屠蘇回り 蒟蒻づくり どんど焼き 静岡県指導監査 優先入居検討委員会 外出 ほほ笑み喫茶 施設内外清掃	火災発生による防災訓練 書面 ユニットあしたか (不二家レストラン) ユニットふじ (不二家レストラン)	主任・リーダー会議 感染症委員会 身体拘束委員会 給食会議 リスク委員会 ユニット会議 衛生委員会 運営推進委員会
二月	回診 歯科往診 懇話会 防災訓練 情報開示 雛飾り 節分 誕生会 外出 ほほ笑み喫茶 施設内外清掃	火災発生による避難訓練 ユニットするが (ケーキ) ユニットするが、あしたか (さくら祭り)	主任・リーダー会議 感染症委員会 身体拘束委員会 給食会議 リスク委員会 ユニット会議 衛生委員会
三月	回診 歯科往診 防災訓練 懇話会 福祉作品展 雛祭り 誕生会 施設内外清掃	地震発生による防災訓練 ユニットふじ (ケーキ)	主任・リーダー会議 感染症委員会 身体拘束委員会 給食会議 リスク委員会 ユニット会議 衛生委員会 運営推進委員会

6. 面会状況

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
137	158	124	112	197	147	205	156	189	149	128	176

年間面会人数：1,878人 一日平均面会人数：5.14人 利用者一人の月平均：5.4回

平成22年度

事業実績報告書

社会福祉法人 富士厚生会

認知症対応型通所介護 なかざと

1. 事業報告

平成22年度は、平成21年度よりもケアマネージャーとの関わりを密にするため、月初めには必ず、提供実績を持って、各事業所を回る努力をしてきました。その結果、昨年度は他施設への入居などもあり、稼働率が最低の月には、44%という数字でしたが、新規の御利用者様のご紹介が何人かあり、今年度は最低の月でも56%という数字にとどまることができ、平均稼働率も昨年より約5%アップすることができました。

また月に1度、生活相談員より御家族様に連絡し、御家族様からの要望などを聞き、御家族様が安心して御利用者様を通わせられるデイサービスを今年度は目指してきました。その努力もあってなのか、苦情などもなく、22年度は終えることができました。23年度は更なる稼働率の向上を図るため、御利用者様に対し、職員一人ひとりが真摯に対応するとともに営業活動をしていく所存であります。

2. 稼働率の状況 (平成22年4月1日～平成23年3月31日、定員12名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用延人数	152	162	153	171	173	182	173	189	189	137	135	167
営業日数	22	21	22	22	22	22	21	22	22	20	20	23
稼働率	72	74.2	70.1	71.7	63.9	62.1	50	44.4	43.9	46.7	50	53.3

年間利用延べ人数：1983人 営業延べ日数：259日 年間平均稼働率：63.8%

(2) 年齢別 (平成23年3月31日現在)

	在所者数		年齢階級別							
			64歳以下	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95以上
性別	男性	10	0	1	1	1	6	0	1	0
	女性	5	0	1	0	0	2	1	1	0

平均年齢 平均 80歳4ヶ月
(最高 92歳10ヶ月 ・ 最小 69歳2ヶ月)

(3) 要介護度別 (平成23年3月31日現在)

平均介護度 3.6

要介護度	男性	女性	計
要介護 1	0	0	0
要介護 2	1	1	2
要介護 3	3	3	6
要介護 4	3	0	3
要介護 5	3	1	4
合計	10	5	15

(4) 認知症度別 (平成23年3月31日現在)

認知度	男性	女性	計
I	0	0	0
II a	1	1	2
II b	2	1	3
III a	4	1	5
III b	2	1	3
IV	1	1	2
M	0	0	0
合計	10	5	15

(5) 障害レベル別 (平成23年3月31日現在)

障害レベル	男	女	計
J1	0	1	1
J2	1	3	4
A1	1	0	1
A2	4	0	4
B1	2	0	2
B2	1	0	1
C1	1	0	1
C2	0	1	1
合計	10	5	15

3. 食事摂取状況 (平成23年3月31日現在)

主 食	
ご飯	12 80%
粥	2 13.5%
ゼリー粥	1 6.5%

副 食	
並	10 67%
粗キザミ	2 13.5%
キザミ	1 6.5%
超きざみ	1 6.5%
ペースト	1 6.5%
胃ろう	0 0%

4. 平成22年度主な活動実施状況

月	主 な 行 事
四月	軽体操、口腔体操、防災訓練、壁画制作、お手玉並べ、談話 散歩、ボール遊び、輪投げ、齋道、軽作業、お茶会、読み聞かせ 体重測定、歌
五月	軽体操、口腔体操、防災訓練、談話、散歩、ボール遊び カラオケ、軽作業、ぬり絵、クッキング、歌

六月	軽体操、口腔体操、防災訓練、ボール遊び、散歩、貼り絵 体重測定、軽作業、輪投げ、折り紙、歌、談話、クッキング バーベキュー、七夕飾り作り、書道
七月	軽体操、口腔体操、七夕飾り、防災訓練、散歩、談話、歌 軽作業、ぬり絵、ボール遊び、草取り、輪投げ大会、日替わり風呂 流しそうめん、書道
八月	軽体操、口腔体操、書道、散歩、防災訓練、ボール遊び 軽作業、談話、バトン体操、輪投げ、体重測定、お手玉、歌 談話
九月	軽体操、口腔体操、歌、散歩、書道、防災訓練、ボール遊び 談話、お手玉、軽作業、体重測定、輪投げ、クッキング
十月	軽体操、口腔体操、歌、防災訓練、ボール遊び、軽作業 書道、散歩、輪投げ、お手玉、たぬきの置物作成、ぬり絵 バトン体操、映画会、ミニスポーツ大会、壁画制作、体重測定
十一月	軽体操、口腔体操、書道、散歩、ボール遊び、防災訓練 バトン体操、壁画制作、花壇の花植え、輪投げ、クッキング 体重測定、歌、談話
十二月	軽体操、口腔体操、歌、書道、散歩、ボール遊び、防災訓練 壁画制作、クリスマスツリー飾り、軽作業、リース制作 クリスマス会、体重測定、餅つき
一月	軽体操、口腔体操、歌、ボール遊び、書道、散歩、談話 蒟蒻作り、防災訓練、ゆず風呂、壁画制作、ぬり絵 百合の花制作、クッキング
二月	軽体操、口腔体操、書道、散歩、防災訓練、折り紙、読み聞かせ 軽作業、輪投げ大会、歌、豆まき、百合の花制作、ボール遊び 体重測定、雑飾り
三月	軽体操、口腔体操、ボール遊び、歌、書道、散歩 防災訓練、軽作業、談話、読み聞かせ、脳トレ、お手玉遊び クッキング

平成22年度

事業実績報告書

社会福祉法人 富士厚生会

なかざと生きがい倶楽部

1. 事業報告

前年度、なかざと生きがい倶楽部は地域に根付き始めたため、今年度は御利用者様が継続してなかざと生きがい倶楽部を利用できるように、健康チェック、体操、脳トレ、足湯の活用はもちろんのこと、それ以外にも講座を開催したり、時には外出をしたりと、御利用者様が生きがい倶楽部を楽しみにきたくなるような事業の展開をしてきました。その努力もあり、御利用者様も定着し、多くの御利用者様より御利用するたびに、「次回が楽しみ」とのお声をいただけるようになりました。生きがい倶楽部が地域に定着することは、なかざとの広報にもなるため、23年度も定着した運営ができるように努力していく所存であります。

2. 稼働状況（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用延人数	89	83	104	88	80	84	86	86	70	86	78	94
営業日数	12	10	12	11	11	11	11	11	9	10	10	10

年間利用延べ人数：1028人 営業延べ日数：128日

3. 地区別登録状況（平成23年3月31日現在）

鈴川地区・・・13名 大野地区・・・25名 須津地区・・・7名
 今井地区・・・12名 中里地区・・・8名 柏原地区・・・10名

計 75名

4. 平成22年度主な活動実施状況

月	主 な 行 事
四月	健康チェック、脳トレーニング、貯筋体操、口腔体操、足湯もぐらたたきゲーム、花見（岩本山） 栄養講座（水分補給について）、アルブミン値についての研修会
五月	健康チェック、脳トレーニング、貯筋体操、口腔体操、足湯数独、地図遊び、バラ見（中央公園）、浮島公園散歩
六月	健康チェック、脳トレーニング、貯筋体操、口腔体操、足湯 看護師による講座（食中毒について）、ヤクルト健康講座 ぬり絵、バーベキュー
七月	健康チェック、脳トレーニング、貯筋体操、口腔体操、足湯 ぬり絵、輪投げ、流しそうめん、スイカ割り
八月	健康チェック、脳トレーニング、貯筋体操、口腔体操、足湯 ぬり絵、大棚の滝散策、輪投げ、おはじき、擬似音カルタ
九月	健康チェック、脳トレーニング、貯筋体操、口腔体操、足湯 相談員による講座（介護制度について）、もぐらたたきゲーム 転倒予防と体力の増強講座

十月	健康チェック、脳トレーニング、貯筋体操、口腔体操、足湯 もぐらたたきゲーム、県名ビンゴゲーム
十一月	健康チェック、脳トレーニング、貯筋体操、口腔体操、足湯 玉入れ、輪投げ、浮島公園散歩、もぐらたたきゲーム ツボについての話、紅葉狩り（大瀬の滝）
十二月	健康チェック、脳トレーニング、貯筋体操、口腔体操、足湯 紅葉狩り（大瀬の滝）、冷え性の話、お菓子作り（ホットケーキ）
一月	健康チェック、脳トレーニング、貯筋体操、口腔体操、足湯 冷え性の話、血液型の話、ビデオ鑑賞、額縁作り
二月	健康チェック、脳トレーニング、貯筋体操、口腔体操、足湯 額縁作り、豆まき、教独
三月	健康チェック、脳トレーニング、貯筋体操、口腔体操、足湯 教独、シャローム富士川作品展見学、梅見学（岩本山）

平成22年度

事業実績報告書

社会福祉法人富士厚生会
障害者支援施設 三和荘

1. 事業実績報告

平成22年度は、以下を目標として実行致しました。

- ・自立支援法の新体系移行。
今までの24時間サービスから、日中活動と夜間を区別する必要がある、生活介護80名、施設入所支援80名としました。
- ・個別支援の充実
利用者一人一人の施設での生活への想いの聞き取りから個別支援計画書への反映、そしてその実現を目指しました。
「グループ担当制」をよりきめ細やかなサービスにつなげられるように実施いたしました。
- ・日中活動の充実
日中活動においても前年度に実施した移行シミュレーションを元に、より一層の充実と修正を行いながら取り組みました。

自立支援法の制定後、利用者及び家族への負担が大きくなり制度に対しての不評や不安があります。又、制度そのものが分かりにくいため現在どのようなサービスを提供しているかを説明し理解を得るには難しいものでした。

今後も職員の専門性を高め、利用者・ご家族に納得していただけるサービスを提供して行きたいと思えます。

利用者主体となる個別支援計画をしっかりと立て、身体面・精神面の充実につながる様に支援をして行きます。

3. 施設利用者状況

施設入所支援（サービス提供日数365日）

ア、年間利用者延人員数	28,884人
イ、年間平均利用者数	79.2人
ウ、年間利用者率	99.0%

生活介護（サービス提供日数269日）

ア、年間利用者延人員数	21,502人
イ、年間平均利用者数	79.9人
ウ、年間利用者率	99.8%

4. 利用者状況

①市町村別

市 町 村		男 性	女 性	計
東 部 地 区	富士宮市	7	9	16
	富士市	10	9	19
	沼津市	12	2	14
	御殿場市	1	1	2
	三島市	2	0	2
	熱海市	1	1	2
	裾野市	1	0	1
	伊東市	0	1	1
	伊豆市	1	1	2
	伊豆の国市	1	1	2
	小山町	3	0	3
	清水町	1	0	1
	函南町	0	2	2
	西伊豆町	1	0	1
中部	静岡市	3	3	6
西 部	藤枝市	1	1	2
	島田市	1	0	1
	牧之原市	2	0	2
東京	東京都町田市	1	0	1
合 計		49	31	80

②障害程度区分・障害等級

区分	区分 6	区分 5	区分 4	区分 3		合 計
男性	30	11	4	4		49
女性	17	10	3	1		31
計	47	21	7	5		80
等級	1 級	2 級	3 級	合 計		
男性	32	17	0	49		
女性	21	9	1	31		
計	53	26	1	80		

③年齢別

年齢	29歳以下	～39歳	～49歳	～59歳	60歳以上	合 計
男性	0	3	5	12	29	49
女性	1	1	2	10	17	31
計	1	4	7	22	46	80

④障害名別

障害名	男性	女性	合計
視覚障害	2	5	7
体幹機能障害	3	2	5
下肢機能障害	2		2
痙性麻痺	2		2
脳血管障害	13	6	19
頸椎損傷	6		6
脳性麻痺	11	11	22
水頭症	2		2
ベーチェット症候群		1	1
両耳全聾・啞	1		1
脊髄小脳変性症		1	1
四肢機能障害	1		1
上下肢機能障害	4	1	5
網膜色素変性症		1	1
筋ジストロフィー	1	2	2
パーキンソン		1	1
慢性関節リウマチ		1	1
計	49	31	80

5. 入浴

毎週 5 回 (月・火・木・金・土) 一般浴・機械浴

6. 職員関係

1) 職員研修

職員の研修については、県及び東海北陸地区・全国身体障害者療護施設協議会等の
行う職種研修に参加させ、研修者は研修終了後他の職員に対し研修報告を行い利用者
へのサービス向上に寄与しました。

2) 法人内部研修

新規採用職員研修 (合同研修)・新規採用職員研修 (実務研修)・理事長研修
職員接遇マナー研修・産業医研修 (新型インフルエンザ) (褥瘡の予防と処置)
上記の研修の他、外部研修にも参加し利用者へのサービス向上、職員の知識向上に寄与し
ました。

7. 非常災害対策訓練の実施状況

非常災害対策訓練は事業計画にもとづき実施しました。避難訓練は毎月行いその他
に初期消火・避難誘導・救急救護 (応急手当・心肺蘇生)・夜間緊急職員召集訓練・
職員火災器具操作研修等を行いました。

8. 実習生・ボランティア・施設見学者

実習生	人	ボランティア	人	施設見学者	人
静岡医療福祉専門 学校	4人	サマーショート	2人		6人
静岡英和学院大学	2人	ジャトコ	20人		
静岡福祉大学	2人				
富士宮東高校	12人				

9. 平成22年度年間事業実施報告

月	施設行事	施設会議
4月	1. クラブ活動 (書道・スポーツ・創作・カラオケ) 2. 外出 (自由旅行・ショッピング・個別外出・花見) 3. 防災訓練 4. 誕生会・喫茶 5. バイキング 6. 映画会 7. 懇話会 8. 保護者会総会 9. お好み給食 10. 昼の集い 11. 雑祭り	1. 主任会議 2. 職員会議 3. 現場研修会 4. 給食会議 5. 行事打合せ
5月	1. クラブ活動 (カラオケ・スポーツ・創作・書道) 2. 外出 (自由旅行・個別外出) 3. 防災訓練 4. 誕生会・喫茶 5. バーベキュー 6. 懇話会 7. お好み給食 8. 昼の集い 9. お好み給食 10. 昼の集い 11. PT体操	1. 現場研修会 2. 職員会議 3. 主任会議 4. 給食会議 5. 行事打合せ
6月	1. クラブ活動 (書道・スポーツ・創作・カラオケ) 2. 外出 (自由旅行・個別外出) 3. 防災訓練 4. 誕生会・喫茶 5. バイキング 6. 懇話会 7. お好み給食 8. 昼の集い 9. PT体操	1. 主任会議 2. 職員会議 3. 現場研修会 4. 給食会議 5. 行事打合せ
7月	1. クラブ活動 (書道・スポーツ・創作・カラオケ) 2. 外出 (自由旅行・個別外出) 3. 防災訓練 4. 誕生会・喫茶 5. 懇話会 6. 開設記念祭 7. お好み給食 8. 昼の集い 9. PT体操	1. 主任会議 2. 職員会議 3. 現場研修会 4. 給食会議 5. 行事打合せ
8月	1. クラブ活動 (書道・スポーツ・創作・カラオケ) 2. 外出 (自由旅行・個別外出) 3. 防災訓練 4. 誕生会・喫茶 5. バイキング 6. カラオケ大会 7. 懇話会 8. お好み給食 9. 昼の集い 10. PT体操 11. 施設鬼供養 12. 七夕	1. 主任会議 2. 職員会議 3. 現場研修会 4. 給食会議 5. 行事打合せ
9月	1. クラブ活動 (書道・スポーツ・創作・カラオケ) 2. 外出 (自由旅行・個別外出) 3. 防災訓練 4. 誕生会・喫茶 5. バイキング 6. プドウ狩り 7. 懇話会 8. 施設内外清掃 9. お好み給食 10. 昼の集い 11. PT体操	1. 主任会議 2. 職員会議 3. 現場研修会 4. 給食会議 5. 行事打合せ

月	施設行事	施設会議
10月	1. クラブ活動 (書道・スポーツ・創作・カラオケ) 2. 外出 (自由旅行・個別外出) 3. 防災訓練 4. 誕生会・喫茶 5. 映画会 6. 懇話会 7. 運動会 8. お好み給食 9. 昼の集い 10. PT体操	1. 主任会議 2. 職員会議 3. 現場研修会 4. 給食会議 5. 行事打合せ
11月	1. クラブ活動 (書道・スポーツ・創作・カラオケ) 2. 外出 (自由旅行・個別外出) 3. 防災訓練 4. 誕生会・喫茶 5. バイクング 6. 映画会 7. 懇話会 8. ひばりの会慰問 9. お好み給食 10. 昼の集い 11. PT体操	1. 主任会議 2. 職員会議 3. 現場研修会 4. 給食会議 5. 行事打合せ
12月	1. クラブ活動 (書道・スポーツ・創作・カラオケ) 2. 外出 (自由旅行・個別外出) 3. 防災訓練 4. 誕生会・喫茶 5. クリスマス会 6. 餅つき 7. 懇話会 8. すず払い 9. お好み給食 10. 昼の集い 11. 映画会 12. PT体操	1. 主任会議 2. 職員会議 3. 現場研修会 4. 給食会議 5. 行事打合せ
1月	1. クラブ活動 (書道・スポーツ・創作・カラオケ) 2. 外出 (自由旅行・個別外出) 3. 防災訓練 4. 誕生会・喫茶 5. バイクング 6. 新年会 7. 懇話会 8. どんど焼き 9. お好み給食 10. 昼の集い 11. 映画会 12. 浅間大社豆まき 13. PT体操	1. 主任会議 2. 職員会議 3. 現場研修会 4. 給食会議 5. 行事打合せ
2月	1. クラブ活動 (書道・スポーツ・創作・カラオケ) 2. 外出 (自由旅行・個別外出) 3. 防災訓練 4. 誕生会・喫茶 5. バイクング 6. お好み給食 7. 懇話会 8. 昼の集い 9. PT体操	1. 主任会議 2. 職員会議 3. 現場研修会 4. 給食会議 5. 行事打合せ
3月	1. クラブ活動 (書道・スポーツ・創作・カラオケ) 2. 外出 (自由旅行・個別外出) 3. 防災訓練 4. 誕生会・喫茶 5. バイクング 6. 映画会 7. 懇話会 8. 施設内外清掃 9. お好み給食 10. 昼の集い 11. PT体操	1. 主任会議 2. 職員会議 3. 現場研修会 4. 給食会議 5. 行事打合せ

平成22年度

事業実績報告書

社会福祉法人 富士厚生会
障害者短期入所事業 三和荘

事業所名 ショートステイ三和荘

1. 事業実績報告

平成21年4月より同一事業所内での重複利用制度（Ⅱ型利用）が可能となった事が周知され、平成22年度は制度を利用しての新規利用者様が増加した。今後、そよかぜ、地域活動支援センターの生活介護移行に関して、さらに連携を密にし新規利用者様、リピーターの確保を図っていきたい。

2. 施設利用者状況

ア、年間利用者延人員数 120人
 イ、年間利用日数 739日
 ウ、年間利用市町村 富士宮市・富士市・東京都小平市

3. 月別男女別利用状況・日数

	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数
男性	9	50	10	63	9	58	8	55	7	50	12	61
女性	0	0	0	0	0	0	1	30	2	31	0	0
計	9	50	10	63	9	58	9	85	10	81	12	61

10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	総人員	総日数
10	58	11	69	9	48	8	44	10	61	10	61	113	630
0	0	0	0	0	0	1	2	1	12	2	34	7	109
10	58	11	69	9	48	9	46	11	73	12	95	120	739

4. 障害程度区分・障害等級

区分	区分 6	区分 5	区分 4	区分 3	区分 2	区分 1	合計
男性	6	2	3	4	2	0	17
女性	3	1	0	0	0	0	4
計	8	3	2	4	2	0	21
等級	1 級	2 級	3 級				合計
男性	11	4	2				18
女性	2	1	1				4
計	13	5	3				21

5. 年齢別

年齢	29歳以下	～39歳	～49歳	～59歳	60歳以上	合計
男性	2	6	5	3	1	17
女性	1	2	1	0	0	4
計	3	8	6	3	1	21

6. 障害名別

障害名	男性	女性	合計
脳性麻痺	7	3	10
頭部外傷	4	0	4
頸椎障害	2	0	2
脳挫傷	1	0	1
痙性麻痺	1	0	1
脳膜炎	0	0	1
脳出血	3	0	3
計	18	3	21

平成 22 年 度

事業実績報告書

障害者地域活動支援センター三和荘

1. 利用者状況

①障害程度区分・障害等級

区分	区分 I	区分 II	区分 III	S1	合計	
男性	3	4	11	2	20	
女性	0	3	3	3	9	
計	3	7	14	5	29	
等級	1 級	2 級	3 級	療育A	精1	合計
男性	10	6	1	2	1	20
女性	7	2	0	0	0	9
計	17	8	1	2	1	29

②年齢別

年齢	29歳以下	～39歳	～49歳	～59歳	60歳以上	合計
男性	0	3	4	4	9	20
女性	0	1	3	1	4	9
計	0	4	7	5	13	29

③障害名別

障害名	男性	女性	合計
脳性麻痺	0	1	1
脳血管障害	7	1	8
頭部外傷	3	0	3
脳挫傷	1	0	1
脊椎損傷	2	1	3
パーキンソン	1	1	2
モヤモヤ病	0	2	2
多発性硬化症	1	1	2
関節リュウマチ	0	2	2
知的障害	2	0	2
高次脳機能障害	1	0	1
糖尿病	1	0	1
CRDP	1	0	1
計	20	9	29

2. 本年度事業の実績

①基本事業

[機能回復訓練]

- ・毎朝実施のいきいき体操や PT によるリハビリ体操の他、PT の助言を参考に、個々の身体状況に応じて歩行訓練、筋力トレーニング、訓練器具（平行棒・サイクルマシーン・ステッパー）を活用した機能回復訓練の実施

[社会適応訓練]

- ・自立支援活動への参加と社会交流を目的とした外出行事（自然散策、ショッピング等）を定期的の実施。

[厚生相談]

- ・在宅福祉サービスの知識と理解を深めていただく。
- ・介護保険重複利用者に関しては、ケアマネージャー他支援関係者と支援会議を実施し情報の交換や支援の統一性を図る。

[介護支援相談]

- ・緊急の相談にも携帯電話にて待機し 24 時間対応を実施
- ・必用に応じて随時モニタリングを実施し、本人のニーズや課題等を引き出していく。
- ・障害受容の認識や、家庭での介護や支援についての相談に応じる。

[スポーツ・レクリエーション]

- ・ボール投げ、トランプ、かるた、散歩、山菜採り、美術鑑賞、焼き芋 軽い農作業 園芸活動、映画鑑賞、クッキングは月 1 回定期的の実施。

[健康相談]

- ・毎朝のバイタルチェック（血圧、体温、血中酸素）・月一回測定（体重、体脂肪）他看護師による健康相談

②創作的活動

- ・文化刺繍、絵画、ちぎり絵、書道、パッチワークの木目込み、和紙の木目込み 吊し雛、押し花アート、ジグソーパズル、園芸（花、野菜）、組紐、機織り エコクラフト、大人のぬりえ、布草履、レザークラフト 等

③入浴サービス（機械浴）

状 況	男 性	女 性	合 計
自 力	0	0	0
一部介助	6	3	9
全介助	4	4	8
計	10	7	17

④給食サービス

状 況	男 性	女 性	合 計
自 力	16	6	22
一部介助	3	1	4
全 介 助	1	1	2
経管栄養		1	1
計	20	9	29

- ・特別食（減塩食、透析食他）をはじめキザミ食、普通食と各個人にあった昼食を提供しました。

⑤介護サービス

- ・日常生活を送る上での困難な動作（着脱、食事、排泄、移動等）の支援や、日常動作改善のための支援。

⑥送迎サービス

- ・リフト付車輦にて、基本的に自宅玄関から施設までの送迎サービスを実施しました。
※有償輸送での送迎サービスを実施。

	22年度	21年度	対 比
総運行日数	241日	240日	100%
総 距 離	31,415km	31,073km	101%
輸送実人員	342	336人	102%
延人員	4,153	3,561人	117%

8:30	送迎サービス（有償輸送）
10:00	健康チェック（バイタル測定）
10:15	いきいき体操後脳のトレーニング
11:00	入浴サービス、創作活動
12:00	昼食
13:00	創作活動・リハビリ・訓練等
13:30	PTによるリハビリ体操（週2回）
15:00	ティータイム
16:00	送迎サービス（有償輸送）

3. 利用実績

		22年度	21年度	対比
機能回復訓練	総実人員	328	260	126%
	総延人員	2276	1917	119%
社会適応訓練	総実人員	328	260	126%
	総延人員	2276	1917	119%
厚生相談	総実人員	132	122	108%
	総延人員	290	285	102%
スポーツ レクリエーション	総実人員	288	250	115%
	総延人員	956	576	166%
健康相談	総実人員	301	348	86%
創作的活動	総実人員	328	260	126%
	総延人員	2276	1917	119%
入浴サービス	総実人員	180	115	157%
	総延人員	1042	743	140%
給食サービス	総実人員	306	214	143%
	総延人員	1964	1708	115%
介護サービス	総実人員	328	260	126%
	総延人員	2276	1917	119%

4. 会議及び研修

- ・富士厚生会定例会（1日/月）
- ・富士厚生会指導員部会（上旬/月）
- ・三和荘職員会議、現場研修会（上旬/月）
- ・三和荘主任会議、行事打ち合わせ（中旬/月）
- ・施設アドバイザー会議（第4水曜日/月）
- ・在宅部会（偶数月、第1木曜日）
- ・産業医研修（11月、3月）
- ・コミュニケーション・マナー研修（2月、3月）
- ・研修旅行（10月～12月）

5. 非常災害対策訓練の実施状況

非常災害対策訓練は事業計画にもとづき実施しました。避難訓練は毎月行いその他、夜間緊急職員召集訓練・職員火災器具操作研修の内より必ず1項目以上を実施しました。

6. 感染症予防の為の消毒

- ・感染症予防のため、室内及びその周辺の消毒を2回/日実施。
- ・うがい手洗いの励行、マスク装着の徹底を図る。
- ・嘔吐物処理の為の用具を設置する。

平成22年度

事業実績報告書

社会福祉法人富士厚生会
重度障害児（者）生活訓練ホーム
そよかぜ

事業所名 重度障害児（者）生活訓練ホーム そよかぜ

事業実績報告

昨年度に引き続き、感染症対策に力を入れた年度となりました。継続していくことで理解も得られ定着してきましたので、利用者・保護者の協力も得られ、感染症を出すことなく元気に過ごすことが出来ました。ただ、それに伴い、外出訓練の回数は減少してしまいましたので、トランポリンを出す回数を増やすなど室内での活動を充実させることによりストレスの溜まらないよう過ごせるよう心掛けました。体を動かす訓練・頭を働かす訓練・声を発する訓練等、個々の能力にあった活動を行い、また繰り返し継続して行うことで機能回復・機能維持に大きな役割を果たすことが出来ました。

入浴に関しては、1名あたりの入浴回数を出来るだけ増加させ、家族からも助かっているとの喜びの報告が得られました。

1. 利用者状況

①障害程度区分・障害等級

区分	区分 I	区分 II	区分 III	療育手帳のみ	合計
男性	7	1	0	0	8
女性	3	1	1	1	6
計	10	2	1	1	14
等級	1 級	2 級	3 級	療育手帳のみ	合計
男性	5	3	0	0	8
女性	3	1	1	1	6
計	8	4	1	1	14

②年齢別

年齢	29歳以下	～39歳	～49歳	～59歳	60歳以上	合計
男性	3	3	2	0	0	8
女性	3	1	2	0	0	6
計	6	4	4	0	0	14

③障害名別

障害名	男性	女性	合計
頭部外傷	2	0	2
脳性麻痺	4	5	9
脳血管障害	1	0	1
進行性脊髄性筋萎縮症	1	0	1
療育手帳保持	0	1	1
計	8	6	14

2. 本年度事業の実績

①基本事業

[機能回復訓練]

歩行訓練・立位訓練・パソコン・手指機能訓練・関節可動域訓練・言語訓練等、個々の能力に合った機能回復訓練を実施。

[機能維持訓練]

日常生活動作訓練・非言語コミュニケーション訓練・弛緩訓練・感覚統合訓練・良肢位保持等、個々の能力に合った機能維持訓練を実施。

[社会適応訓練]

三和荘本体の行事へ参加（花見・開設記念祭・スポーツ大会・クリスマス会）・個別外出訓練・親子外出訓練・月2回の音楽療法。

[スポーツ・レクリエーション]

セラピーボール・ボールプール・トランポリン・ボーリング・カードゲーム・オセロ・カラオケ・カラオケボックスでのカラオケ・キーボード・脳トレ・読書。

[健康相談]

毎朝のバイタルチェック（体温・血圧）・月一回の体重測定、他看護師による健康相談。

②創作的活動

壁面制作・七夕飾り制作・書道・絵画・作詞・クリスマス会飾り制作・作品展出品。

③入浴サービス

状 況	男 性	女 性	合 計
自 力	0	0	0
一部介助	0	0	0
全 介 助	6	3	9
計	6	3	9

・機械浴を実施しました。

④給食サービス

状 況	男 性	女 性	合 計
自 力	0	0	0
一部介助	5	4	9
全 介 助	3	2	5
計	8	6	14

・特別食をはじめ、ペースト食、キザミ食、普通食と各個人にあった昼食を提供しました。

⑤介護サービス

日常生活を送る上での困難な動作（着脱、食事、排泄、移動等）の支援や、日常動作改善のための支援。

⑥送迎サービス

・リフト付車両にて、基本的に自宅玄関から施設までの送迎サービスを実施しました。

<車両運行状況>

	22年度	21年度	対比
総運行日数	238日	234日	101%
総距離	14190km	14340km	98%
輸送実人員	115人	110人	115%
延人員	639人	679人	94%

3. 日課表

時間	内容
9:30	開所 送迎サービスまたは自送にて通所 バイタルチェック
10:00	個別活動 入浴
11:30	昼食準備
12:00	昼食
12:30	昼休み
13:30	集団活動
15:00	水分補給
15:30~	閉所 送迎サービスまたは自送にて帰宅
16:00	

4. 利用実績

		22年	21年	対比
機能回復訓練	総実人員	72人	78人	92%
	総延人員	1263人	1155人	109%
機能維持訓練	総実人員	124人	120人	103%
	総延人員	1565人	1526人	102%
社会適応訓練	総実人員	145人	142人	102%
	総延人員	267人	268人	99%
スポーツ レクリエーション	総実人員	158人	155人	101%
	総延人員	2053人	1928人	106%
健康相談	総実人員	158人	155人	101%
	総延人員	2053人	1928人	106%
創作的活動	総実人員	136人	132人	103%
	総延人員	1839人	1715人	107%
入浴サービス	総実人員	95人	99人	95%
	総延人員	289人	258人	112%

4. 利用実績

		22年	21年	対比
給食サービス	総実人員	158人	155人	101%
	総延人員	2053人	1928人	106%
介護サービス	総実人員	158人	155人	101%
	総延人員	2053人	1928人	106%

5. 会議及び研修

- ・富士厚生会定例会（1日/月）
- ・三和荘職員会議、現場研修会（上旬/月）
- ・三和荘主任会議、行事打ち合わせ、給食会議（中旬/月）
- ・三和荘衛生管理委員会、感染症対策委員会（中旬/月）
- ・三和荘行事实行委員会（随時）
- ・介護部会（1日/月）
- ・在宅部会（隔月）
- ・富士厚生会全体研修会（11, 3月）
- ・歯科健診事前打ち合わせ（8, 2月）

6. 非常災害対策訓練の実施状況

非常災害対策訓練は事業計画にもとづき実施しました。避難訓練は毎月行いその他に初期消火・避難誘導・救急救護（応急手当・心肺蘇生）・夜間緊急職員召集訓練・職員火災器具操作研修の内より必ず1項目以上を行いました。

平成22年度

事業実績報告書

社会福祉法人 富士厚生会

障害者支援施設 くぬぎの里

平成22年度はくぬぎの里、改革の年となり旧法から新法（障害者自立支援法）へ新体系においての運営となりました。

サービス事業内容として、生活介護、施設入所支援での運営となります。

利用者様の生活面におきましては、長期入院もなく、退所者も3名と安定した年でありました。

また、富士厚生会全体を通して、研修の充実（理事長研修、産業医研修、接遇マナー研修）において職員の質の向上につながり、質の高いサービス提供が出来、新体系移行において良い成果が表れております。

本年度も全国的にインフルエンザが蔓延いたしました。施設内での感染症対策の徹底にて集団的感染はありませんでした。

3月11日の東北地方太平洋沖地震が発生し、日がたつにつれ被害が拡大し、被災地の皆様方におかれましては心よりお見舞い申し上げます。また3月15日に発生しました県東部地震で、富士、富士宮市でも震度6強を観測し、当施設にも被害が出ております。計画停電の地域でもあり日課の変更での運営でもありました。施設での防災の徹底を計り防災意識の向上に努めます。

本年も介護職員に対して「介護職員処遇改善交付金、福祉人材の処遇改善助成金」の申請、他職員に対しましても富士厚生会としての給与改定における配慮があり、全職員働く中での活力となり、積極的な事業運営の実践をし、良い結果につながったと感じております。

入所支援

- (1) 定員 50名
 年間利用者延人員数 18,219人 1ヶ月平均利用者数 49.2人
 年間利用者率 99.8%
 ※亡くなられたことによる退所3件 入所3件 入退所 計6件

1、施設利用者状況

(2) 市町別利用状況 (平成22年3月末日)

市町	男性	女性	計
富士市	12	7	19
富士宮市	4	2	6
沼津市	6	8	14
御殿場市	2	0	2
静岡市(葵区)	1	0	1
三島市	1	0	1
伊東市	0	1	1
伊豆市	1	1	2
伊豆の国市	1	1	2
函南町	1	0	1
清水町	1	0	1
合計	31	19	50

(3) 年齢別

年齢	29歳以下	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	70歳以上	計
男性	0	2	4	9	11	4	31
女性	0	1	4	7	5	3	19
計	0	3	8	16	16	7	50

平均年齢

男性 58.9歳 最年少者30歳 最高齢者72歳
 女性 57.5歳 最年少者38歳 最高齢者73歳
平均 58.3歳

(4) 障害程度区分別

区分	3	4	5	6	計
男性	4	4	10	12	31
女性	3	2	7	8	19
計	7	6	17	20	50

(5) 障害等級

等級	1級	2級	3級	4級	計
男性	21	9	0	0	31
女性	11	6	2	1	19
計	34	14	2	1	50

(6) 障害名別

障害名	男性	女性	計
肢体	8	17	25
機能障害(体幹・上肢・下肢)	14	2	16
脳血管	10	6	16
脳性麻痺	8	7	15
視覚・聴覚・言語	3	1	4
リウマチ・パーキンソン	1	1	2
脊髄障害	1	0	1
計	45	34	79

※重複者あり

3. 受診、入院の状況

(1) 月別受診人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	16	19	20	16	17	20	12	13	18	11	9	14	185
女性	8	8	7	4	6	8	5	9	3	9	3	4	74
計	24	27	27	20	23	28	17	22	21	20	12	18	259

(2) 受診科別年間受診人数

	内科	外科 整形外科	神経科	泌尿器科	耳鼻科	眼科	菌科	皮膚科	その他	計
男性	39	12	52	40	3	24	5	9	3	187
女性	9	7	32	0	4	8	5	3	4	72
計	48	19	84	40	7	32	10	12	7	259

(3) 月別入院者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	1	1	1	2	1	1	2	1	3	3	1	2	19
女性	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	3
計	1	1	1	2	1	2	3	1	3	3	1	3	22

4. (1) 平成21年度事業実施状況

月	施設行事	月	施設行事
4月	・外出行事（小グループ外出・花見） ・雑祭り	10月	・外出行事（小グループ外出） ・富士市作品展見学
5月	・外出行事（小グループ外出） ・端午の節句 ・監事監査 ・富士地区福祉施設合同交流会	11月	・外出行事（小グループ外出） ・開設記念
6月	・外出行事（小グループ外出・サファリパーク）	12月	・外出行事（小グループ外出） ・クリスマス会 ・鍋パーティー ・正月準備（門松作り、餅つき、すす払い、正月飾り）
7月	・外出行事（小グループ外出）	1月	・外出行事（小グループ外出） ・初詣
8月	・外出行事（小グループ外出）納涼祭	2月	・外出行事（小グループ外出）
9月	・外出行事（小グループ外出・ぶどう狩り） ・彼岸	3月	・外出行事（小グループ外出）

◎ 月1回の定例行事

- ・主任会議 ・職員会議、現場研修会 ・給食会議 ・感染症、食中毒対策委員会
- ・懇話会 ・誕生会 ・防災訓練
- ・モーニングサービス ・選択メニュー ・お好み給食

その他

- ・珈琲ショップ：3回/月

生活介護

- ◎ 学 習 : 利用者の達成感を感じていただくと同時に、集中力・面白さの発見、脳の活性化を目的とする。
- 活動内容 : 書道、脳トレ (漢字・計算・四字熟語・ことわざ等)、間違い探し、パズル、クロスワード。
- ◎ 創作活動 : 作り上げていく楽しさ、面白さ、達成感を体験していただき、利用者同士、職員とのコミュニケーションをはかる機会を増やす。1つの作品を利用者全員で作ることにより、団結力を高める。手先、指先を使うことによる運動。
- 活動内容 : 季節行事に応じた作品づくり、ぬり絵、折り紙、パズル作り
紙相撲
- ◎ 音 楽 : 懐メロ、童謡、青春時代の歌などで、青春時代を思い出していただく。声を出すことによる発声訓練の一環とする。発表会を企画、目標にをつくり利用者の意欲向上、楽しさ・達成感、喜びを体験していただく。
- 活動内容 : コーラス隊を結成、週2回練習。クリスマス会の発表会を目標。
- ◎ クラブスポーツ : PT、OTと連携をとりながら、残存機能の維持・向上をはかる。障害者でも、気軽にできるスポーツを実施し、体力作り
コミュニケーション機会の増幅と新陳代謝の促進・ストレスの蓄積予防を目的とする。
- 活動内容 : 風船バレー、輪投げ、体操、的当て等
- ◎ レクリエーション : 個々にやりたい物を選んでいただき、心身のリフレッシュと職員、利用者間でのコミュニケーションの向上の場とする。
- 活動内容 : 映画鑑賞、カラオケ、読み聞かせ、紙芝居、将棋、オセロ
かるた、トランプ

学 習	創 作 活 動	クラブスポーツ	レクリエーション	
平成21年度分				
月	参加人数（1ヶ月の延べ人数）			
2月	107	152	360	504
3月	109	95	272	564
平成22年度分				
4月	126	91	308	354
5月	119	132	272	454
6月	50	215	388	372
7月	135	165	410	450
8月	111	184	253	515
9月	46	409	258	258
10月	201	163	298	262
11月	81	158	309	286
12月	174	50	151	433
1月	252	140	207	442
2月	180	50	344	374
3月	111	100	351	320

※人数は延べ人数 単位：人

平成21年2月に、新法移行のため21年度2月、3月の実績を掲載させてあります。

5. 日中一時支援事業状況

日中一時支援事業は障害児及び障害者の日中における活動の場を確保し、障害児（者）の家族の就労支援並びに一時的な休息を目的として実施する。

(1) 本事業を実施するに至った経緯

養護学校中等部在学中の障害児のご両親より、入浴で利用している事業所に人数制限をかけられてしまい、今後利用できなくなってしまう為、入浴の場を提供して頂けないかとの相談があり、H20年度より富士市と日中一時支援委託契約を結ぶこととなる。

(2) 利用者 15歳 日中一時支援における障害程度区分 S2（最重度）

入浴日 毎週月・木曜日 15:15～（特別支援学校が15:00に終わる為）

(3) 利用（入浴）状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ人数 (人)	0	3	8	7	4	5	0	0	6	7	8	7	55

6. 職員研修

H22 7月 28日（水）胃ろう管理等（ニプロ）

H22 11月 19日（金）22日（月）29日（月） 産業医研修

H22 2月 10日（木）28日（月） 職員接遇マナー研修

H22 3月 2日（水）9日（水）11日（金） 産業医研修（糖尿病について）

上記の法人内部研修の他、様々な外部研修にも参加し利用者の処遇改善、職員の知識向上に寄与しました

7. 非常災害対策訓練の実施状況

非常対策訓練は事業計画に基づき実施致しました

4月	5月	6月	7月	8月	9月
地震発生後、 火災を想定した 避難訓練	火災を想定した 避難訓練 業者による 消火設備の講習	地震発生後、 火災を想定した 避難訓練	地震発生後、火災 を想定した避難訓練 応急救護 夜間招集訓練	火災を想定した 避難訓練 (夜間想定訓練)	東海地震を想定した 避難訓練 吹き出し訓練 消防届け出

10月	11月	12月	1月	2月	3月
火災を想定した 避難訓練	火災を想定した 避難訓練 消防届け出	火災を想定した 避難訓練	火災を想定した 避難訓練	火災を想定した 避難訓練	火災を想定した 避難訓練

8. 実習生受け入れ状況

①福祉系大学、高校の実習受け入れ

静岡英和学院大学 1名（12日間） 富士宮東高校 延べ65名

②介護体験

鷹岡中学 4名

③ボランティア

サマーショートボランティア 3名（5日間）

平成22年度 面会記録

氏名	回数	続柄	氏名	回数	続柄
楠松 隆司	57	妻 兄弟 義兄 孫	望月 忠	1	弟
有村 優			山本 政則	2	姉 義兄
安藤 博康	10	妻 娘	山本 守	3	義姉
遠藤 佳範	26	姉 姪 叔父 叔母	吉田 秀雄	3	兄
大島 俊博	1	友人	渡辺 昭	24	弟 義妹 いとこ
大平 理			渡辺 基未	32	義母 母 姉 息子
荻野 芳秀	11	父母 姉	石崎 和代	4	姉
加藤 修一	3	妹	梅原すえみ	1	姉
斉藤 学	14	弟 姉 友人	岡野 広美	9	母 兄
杉山 貞之	34	母 妹	長田 道子	1	
鈴木 章文			角田 孝子	7	弟
鈴木 幸一			斉藤 瑠美		
鈴木 純一	10	兄弟 妹	杉山志奈子	2	兄 妹
鈴木 幹夫			高橋かずえ		
鈴木 保彦	2	友人	丹治 和美	3	友人
関上 等			中西久美子	3	弟
瀬戸 達文	1	姉	野崎麻知子	82	父 夫 兄 夫婦 伯父 伯母
竹田 清巳	11	兄 妹	藤田ゆみ子	2	兄
室桎秀太郎	11	母	望月つる子		
中村 清	4	兄	森 敬子		
中山和市郎	1	兄	米山 明子	5	母
萩原 正明	11	母 姉	米山 雅子	5	母
羽田 剛			渡辺 幸子	29	夫
深谷東一郎	5	義兄弟	渡辺 孝子	22	姉妹 義弟 義妹
増田 博	12	友人	渡辺 三奈		
			渡邊真由美	8	家族 甥

平成22年度 嗜好調査結果

平成22年度 夏・冬の2回、嗜好調査を行いました。

1回目7月、2回目2月 それぞれ季節の食べ物や、なつかしい食事などを利用者様にアンケートしました。調査方法は聞き取りでおこないました。

内容

- 7月・夏とって思い浮かぶ食材、食事はなんですか？
- ・ カウンターで配膳と厨房配膳とどちらが良いですか？
 - ・ おやつはあったほうが良いですか？
- 2月・あなたにとってなつかしい食事や食べ物はなんですか？
- ・ 冬に食べたい物はなんですか
 - ・ パンとご飯とどちらが好きですか？

*夏とって思い浮かぶものは、やはりソフトクリームやすいか、そうめんや冷し中華、冷たい麺類が圧倒的に多かったです。「土用の丑の日で鰻」嗜好飲料でもあるビールもありました。

*冬に食べたい物は・・・夏の冷たい麺の反対である温かい麺類やラーメン、鍋物の回答が多く聞かれました。肉まん・あんまん、みかんも冬の定番です。しかし、思い浮かぶ食事や食べ物に多くの麺類があがりましたが、食事の中では麺類の残食が一番多いです。思い浮かぶ物と食べたい物はちがうようです。

* カウンターで配膳と厨房配膳とでは、大差がありませんでしたがカウンター配膳だと並ぶのが大変だという意見もありましたが、一方では雰囲気が良い、お店みたいで好きという意見もありました。

* なつかしい食事のなかでは、親が作ってくれた食事、学校給食で食べた物（竹輪の2色揚げ、カレーライス、ソフト麺はありませんでした）駄菓子がありました。今ではなかなか口に入らない鯨肉も。女性の方より男性利用者の方が多く回答をしてくださいました。

* パンとご飯とどちらが好きですか？ 男性利用者様の多くはご飯
女性利用者様はパンが好きという回答でした。当施設では朝食の主食が1
週間のうち水・土・日の3回、昼食にも時々サンドイッチやロールパンと
シチューなど提供しています。大好きなパンを色々召し上がっていただ
くよう、バリエーションを増やしていきたいと思えます。

平成22年度

事業実績報告書

社会福祉法人 富士厚生会

ショートステイ くぬぎの里

事業所名 ショートステイクぬぎの里

平成22年度の実績として、年間利用実人数556人であり、新規の利用者を各市町、センターを通しての開拓・リピーターとしての利用者の定着であり、全職員による送迎サービスの効果の要因と思われます。新年度もますますの稼働率増加に努めてまいります。

1. 施設利用者状況

ア、年間利用者数 64人
 イ、年間利用日数 556日
 ウ、年間利用市町村 富士市、沼津市、富士宮市、御殿場市

2. 月別男女別利用状況・日数

	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数
男性	3	26	4	54	4	49	4	39	4	13	5	33
女性	3	21	1	5	2	8	5	29	2	13	1	6
計	6	47	5	59	6	57	9	68	6	26	6	39

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	9	13	11	26	65	71	409
2	20	5	16	7	13	4	147
3	29	18	27	34	78	75	556

3. 障害程度区分

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男性	0	1	2	1	3	2	9
女性	0	0	2	1	0	3	6
計	0	1	4	2	3	5	15

障害等級

等級	1級	2級	3級	その他※	合計
男性	5	3	0	1	9
女性	5	1	0	0	6
計	10	4	0	1	15

※精神2級所持

4. 年齢別

年齢	29歳以下	～39歳	～49歳	～59歳	60歳以上	合計
男性	1	1	5	1	1	9
女性	0	1	4	1	0	6
計	1	2	9	2	1	15

5. 障害名別

障害名	男性	女性	合計
機能障害（上肢・下肢・体幹）	2	3	5
脳血管	1	0	1
脳性麻痺	2	2	4
視覚・聴覚・言語	2	0	2
リウマチ・パーキンソン	1	0	1
脊髄障害・頸椎・腰椎障害	0	1	1
高次脳機能障害	1	0	1
計	9	6	15

平成22年度
事業実績報告書

社会福祉法人 富士厚生会
デイサービスセンターくぬぎの里

事業所名 デイサービスセンター くぬぎの里

くぬぎの里デイサービス事業は、障害者自立支援法の「生活介護」として運営してまいりました。

利用者様の入所施設への移行等で減少することもありましたが、支援センター、市役所障害福祉課を通して新規利用者様の契約にもいたり、年間を通して安定した運営ができました。

今後も質の高いサービス提供をモットーに稼働率を高め、地域に密着したデイサービスセンターとして事業展開いたします。

1. 利用者状況

①障害程度区分・障害等級

区分	1	2	3	4	5	6	合計
男性	0	4	7	5	2	0	20
女性	0	0	7	4	1	0	11
計	0	4	14	9	3	0	31
等級	1 級		2 級		3 級		合計
男性	12		7		1		20
女性	6		4		1		11
計	18		11		2		31

②年齢別

年齢	29歳以下	～39歳	～49歳	～59歳	60歳以上	合計
男性	0	1	8	5	5	19
女性	0	0	2	6	4	12
計	0	1	10	11	9	31

③障害名別

障害名	男性	女性	合計
脳血管障害	13	9	22
キンジストロフィー	1	1	2
頭部外傷	2	1	3
脊髄損傷	1	0	1
脳性麻痺	1	1	2
脊髄小脳変性症	1	0	1
計	19	12	31

2. 本年度事業の実績

①基本事業

[機能回復訓練]

平行棒 階段の昇降 立ち上がり 筋力トレーニング
施設内・中庭・屋上での歩行訓練・散歩

[社会適応訓練]

年月日	行事名	実施内容	参加人数
22. 4. 14	花見遠足	富士桜自然墓地公園にて花見	10名
5	1 花見遠足	富士桜自然墓地公園にて花見	11名
	花見遠足	富士桜自然墓地公園にて花見	名
	16 ショッピング	ジャスコ富士宮店にて買い物	10名
	6. 22 ショッピング	ジャスコ富士宮店にて買い物	名
	2 ショッピング	ジャスコ富士宮店にて買い物	7名
3	バスハイク	御殿場高原ビールにて飲食	10名
	24 バスハイク	御殿場高原ビールにて飲食	名
	9. 15 バスハイク	御殿場高原ビールにて飲食	8名
	16 ショッピング	ジャスコ富士宮店にて買い物	7名
	17 ショッピング	ジャスコ富士宮店にて買い物	10名
	11. 15 ショッピング	ジャスコ富士宮店にて買い物	8名
	16		9名
	17		8名
			12名

[厚生相談]

- ・車椅子・補装具の申請手続きの助言
- ・デイサービス利用問い合わせ
- ・その他の福祉サービスの助言

[介護支援相談]

- ・家庭における安全な介護の基本
- ・家庭での散歩時における歩行中の注意点 ・障害の認識について

[スポーツ・レクリエーション]

年 月 日	行 事 名	実 施 内 容	参加人数
22. 8 4	バーベキュー	屋外でのバーベキュー	9名
	バーベキュー	屋外でのバーベキュー	12名
	バーベキュー	屋外でのバーベキュー	9名
12. 3	クリスマスツリー	クリスマスツリーの飾り付け	8名
	クリスマス飾り	飾り花作り	11名
	クリスマス飾り	飾り花作り	9名
	クリスマス会	クリスマス会及び開設記念式典	10名
	クリスマス会	クリスマス会及び開設記念式典	11名
	クリスマス会	クリスマス会及び開設記念式典	8名

※ その他、トランプ、オセロ、カラオケ、ボール投げ、散歩は随時実施。

[健康相談]

看護師によるバイタルチェック・ストレッチ体操

平成22年度

事業実績報告書

社会福祉法人 富士厚生会
障害者生活支援センターくぬぎの里

平成22年度 障害者生活支援センター くぬぎの里 相談件数等実績報告書

相談支援(指定相談支援事業所 くぬぎの里)として、身体障害の他、知的・精神等障害種別を問わない相談支援を実施。

富士市・芝川町との契約、また県高次脳機能障害支援普及事業とも契約を致し、24時間365日体制にて相談対応致しました。

在宅福祉サービスの利用援助、社会資源の活用支援、専門機関との連携等々の他、障害程度区分認定調査の実施。

また、富士市障害者自立支援協議会・各研修会・連絡会・調整会議等への出席にて、担当職員の各地域での位置づけが明確になり、相談支援機能の強化を図り、迅速且つ適切に対応致しました。

1. 相談受理(対応)件数

経路・形態		身体障害	知的障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	合計
富士市	来所(面接)	16		1			17		34
	電話・メール等	219		59	37		354		669
	訪問	26		2	2		61		91
	同行	1					20		21
	他機関との連絡調整	29		4	3		68		104
	ケア会議及びケース会議等	6					14		20
	計	297		66	42				939
富士宮市	来所(面接)	1		1		8	10		20
	電話・メール等	2		33		17	207		259
	訪問					2	56		58
	同行						16		16
	他機関との連絡調整	1		1		8	69		79
	ケア会議及びケース会議等					2	3		5
	計	4		35		37	361		437
圏域外	来所(面接)								0
	電話・メール等						54		54
	訪問						12		12
	同行								0
	他機関との連絡調整						9		9
	ケア会議及びケース会議等						1		1
	計	0	0	0	0	0	76	0	76

※1 来所はセンター来所の他、フィランセ、富士川地区等のサテライト窓口への来所(面接)を含む。

※2 訪問は世帯訪問の他、関係機関等への訪問を含む。

※3 他機関との連絡調整は電話の他、メール、来所、訪問による連絡調整を含む。

●相談者実数

	対象者数
富士市	56
富士宮市	20
圏域外	4
計	

他、直接支援介入はしていないが、他機関等よりの間接相談支援ケース(14件)

2. 夜間・休日相談受理(対応)件数 (114件)

3. 支援センター事業・研修の受講等

- ① 富士市障害程度区分認定調査受託 障害程度区分認定調査(53件)
- ② 就労支援(復職・再就職支援・就労支援事業所利用支援) / 9ケース
- ③ 富士保健福祉圏域支援センター連絡会としてのとりくみ(毎月開催/12回)
ケース研究・検討等を中心に各障害の理解を深める。
各機関の取り組みや情報交換等を行う
富士市高齢者包括支援センターとの会合(年2回)
- ④ 県委託事業「高次脳機能障害者支援拠点機関事業」を受け、県の連絡会、検討委員会等出席
富士圏域ネットワーク連絡会議の開催・ケース検討会主催・研修会・講演会の主催・共催
富士圏域の高次脳機能障害者(児)の相談支援
圏域外であっても、必要により相談支援を実施(4ケース)
関係機関へのレクチャーを実施
富士圏域高次脳機能障害医療相談会(県主催)への協力(相談受付・同行支援等)
富士地域リハビリテーション広域支援センターと協力しての講演会共催(9月実施)
- ⑤ 「脳外僑友の会しずおか」の活動に協力。総会・東部地区勉強会等への参加
- ⑥ 高次脳機能障害リハビリテーション講習会出席(実行委員)
- ⑦ 厚生労働省高次脳機能障害者支援コーディネーター研修会出席
- ⑧ 厚生労働省 高次脳機能障害支援事業関係職員研修会出席
- ⑨ 厚生労働省科学研究費「高次脳機能障害者に対する地域支援ネットワークの構築に関する研究」
高次脳機能障害支援普及事業に支援拠点機関等全国連絡協議会委員依嘱
東海ブロック連絡協議会委員依嘱 (連絡協議会への出席)
- ⑩ 「視覚障害者訪問自立支援事業」アセスメント支援 歩行訓練等補助 研修会・会議に出席
- ⑪ 静岡県視覚障害者協会事業等への協力
- ⑫ 富士市自立支援協議会に参画 (運営委員・身体障害担当) 運営委員会参画、研修会開催
- ⑬ 富士市手をつなぐ育成会事業への協力
- ⑭ 富士地区障害者雇用連絡調整会議委員として各種会議に出席

その他、各種会議・研修会等への出席・参加

平成22年度 事業報告書

障害者支援施設 きぼうの里（入所）

障害者支援施設 きぼうの里

1. 事業実績報告

平成22年度のきぼうの里（入所）は、平成23年度に予定されていた新体系移行への準備の1年となりました。

新体系への移行に備え、利用者様の日中活動を充実させるため、「就労」「生活介護」の2グループでは昨年度以上に活発な活動を実施しています。

「就労グループ」については内職作業にチャレンジする新しい利用者様も増え、たとえわずかであっても地域社会との係わりを持つことにより、働くことの厳しさや重要性などを学んで頂きました。「生活介護グループ」では個別支援を常に意識した日中活動により、集中力が持続する利用者様も増えつつあります。

また、農作業や園芸活動で野菜や花を作る喜びを体験したり、絵画、手芸、工芸などの芸術活動や創作活動では富士市福祉展、市民福祉まつり、愛護ギャラリー展、シャローム富士川のギャラリー等に作品を出展・出品し、社会参加や地域交流を活発に行っています。愛護ギャラリー展では金賞を受賞する利用者様も現れ、内容もレベルアップしています。

そして、各市・町、近隣施設、協力医療機関、保護者会、地域の方々との連携が重要であることを常に意識しながら、新体系への移行に向け、利用者様への支援に取り組ませて頂きました。

2. 利用者の施設利用状況（平成22年4月～平成23年3月）

①年間利用者延人員数 17,903名

②年間利用率 98.1%

3. 利用者知的障害程度区分

（平成23年3月31日 現在）

	A	B	C	計
男性	25名	5名	1名	31名
女性	16名	3名		19名
計	41名	8名	1名	50名

4. 利用者援護実施機関状況 (平成23年3月31日 現在)

	男性	女性	計
富士市	18名	9名	27名
富士宮市	3名	2名	5名
沼津市		3名	3名
伊東市	3名	2名	5名
御殿場市		2名	2名
三島市	1名		1名
熱海市	4名		4名
伊豆の国市	1名		1名
長泉町		1名	1名
小山町	1名		1名
計	31名	19名	50名

5. 利用者年齢 (平成23年3月31日 現在)

	20~29才	30~39才	40~49才	50~59才	60才以上	計	平均
男性	1名	16名	6名	2名	6名	31名	44.2才
女性	1名	5名	6名	5名	2名	19名	46.3才
計	2名	21名	12名	7名	8名	50名	45.0才

【男性最高68才，女性最高61才】

6. 年間行事実施報告書

月	実施内容	職員関係, その他
	<p>【常時実施したもの】</p> <p>※防災訓練, 利用者夕礼, 喫茶, 回診, 体重測定, 選択メニュー, 特別(お楽しみ)メニュー, 誕生日メニュー【毎月1回実施】</p> <p>※おしゃれ工房【毎月2回実施】</p> <p>※衛生検査【第2, 第4水曜日】</p> <p>※パン作り【毎週火曜日】</p> <p>※消毒日【毎週日曜日】 ※床屋【年9回実施】</p> <p>※自販機デイ, お菓子の日【それぞれ隔週で日曜日実施】</p> <p>※読み聞かせ会【毎月最終水曜日】</p>	<p>【常時実施したもの】</p> <p>※定例会議, 職員会議</p> <p>ケース検討会, 主任会議</p> <p>給食会議, 感染症・食中毒対策委員会, 事故防止委員会, 経営会議</p> <p>【毎月1回実施】</p> <p>※古紙回収【年6回実施】</p>
4月	花見遠足, 歯科検診	
5月	<p>残留者買物外出</p> <p>フォレスト・リ・マーケット</p> <p>保護者会総会</p>	<p>静岡県知的障害者福祉協会施設長・主任者合同会議</p> <p>富士市知的障害者連絡調整会議(代表者会議)</p> <p>給食協会富士支部総会</p>
6月	<p>保護者との遠足</p> <p>利用者検便</p>	<p>静岡県知的障害者福祉協会大会</p> <p>静岡県給食協会総会, 東部成人福祉施設長連絡会</p>
7月	七夕会, 宿泊体験	富士市自立支援協議会
8月	<p>残留者コンビニ外出</p> <p>夕涼み会</p> <p>きぼうの里祭り</p>	<p>大淵地区福祉・教育・医療を考える会, 内部監査</p> <p>県知協 医療・看護・心理学講座, 富士市長との懇談会</p> <p>感染症予防対策講座</p>
9月	<p>総合防災訓練</p> <p>健康診断</p> <p>わかふじスポーツ大会</p> <p>東部施設スポーツ交歓会</p>	<p>保護者会環境美化, 富士市知的障害者連絡調整会議</p> <p>磐田学園強度行動障害研究会, 県知協 医療・看護講座</p>
10月	<p>富士市市民福祉まつり</p> <p>富士市福祉展, きぼうの里運動会</p>	<p>福祉キャンパス看護師感染症予防対策研修</p> <p>職員研修第1・2班</p>
11月	<p>総合防災訓練</p> <p>開設記念行事</p>	<p>静岡県知的障害者福祉協会保健部会, 職員研修第3・4・5班</p> <p>産業医研修「熟睡のこつ」, 福祉キャンパス講座「行動の問題」</p> <p>富士市知的障害者連絡調整会議, 磐田学園強度行動障害研究会</p>

月	実施内容	職員関係, その他
12月	クリスマス会, 愛護ギャラリー展 インフルエンザ予防接種 残留者コンビニ外出 御用納め・大掃除・すす払い	職員研修第6・7班, 人権問題講演会 東部成人福祉施設長連絡会研修 障害福祉サービス実地指導
1月	新年会, 繭玉作り, どんど焼き	南部町駅伝, 静岡県指導監査
2月	シャローム富士川 作品展 節分	大淵地区福祉・教育・医療を考える会, 富士宮駅伝 富士市自立支援協議会, 富士市知的障害者連絡調整会議 マナー講習, 静岡県権利擁護セミナー, 新体系移行に関する説明会
3月	雛祭り 健康診断, B級グルメ・メニュー	自立支援法事業者説明会, 喀痰吸引研修 産業医研修「糖尿について」

※12月実施の愛護ギャラリー展にて利用者の作品を出品。絵画の部にて金賞（静岡県知的障害者福祉協会賞）を受賞する。

7. 実習生受け入れ

- | | | |
|----------------------------|----------|----|
| ①7月15, 16, 20, 21, 22日(5日) | 富士宮東高等学校 | 4名 |
| ②7月26～30日(5日) | 富士宮東高等学校 | 4名 |
| ③8月24日～8月26日(3日) | 富士宮東高等学校 | 5名 |
| ④11月11日(1日) | 吉原北中学校 | 4名 |
| ⑤11月25日(1日) | 鷹岡中学校 | 4名 |

8. ボランティア受け入れ

- | | |
|---|---------|
| ①手芸ボランティア | 6月25日 |
| ②きぼうの里まつり ビデオ撮影; シルバー人材センター
ボランティア; 静岡英和学院大学 | 8月28日 |
| ③環境美化; 杉田の畑・施設内整備; きぼうの里保護者会 | 9月27日 |
| ④きぼうの里運動会ビデオ撮影; シルバー人材センター | 10月20日 |
| ⑤絵本の読み聴かせボランティア; 通所利用者の保護者 | 毎月最終水曜日 |

9. 非常災害対策に関わる教育・訓練

非常災害時における、施設利用者の安全を確保するため、消防法並びに大規模地震対策特別措置法に基づき、きぼうの里自主防災計画及び地震防災計画を策定し、次の教育・訓練を実施しました。

- ①教育：新人採用職員教育，消防計画及び地震防災計画の周知
大規模地震対策特別措置法の解釈，非常放送設備類の機器等の操作
消火器及び屋内消火栓の取り扱い
- ②訓練：年間12回実施（通所，地域活動支援センターと合同で実施）
【内容】初期消火，避難誘導，応急救護等

平成22年度
きぼうの里通所 事業実績報告書

きぼうの里 通 所

1. 事業実績報告

平成22年度も、「安全に・明るく・楽しい通所」を念頭に、利用者及びご家族の皆様より、信頼され親しまれる施設づくりを目指してきました。通所事業はご家族との関わりが非常に強いために、利用者だけでなく、ご家族への精神ケアも併せて実施し、利用者・ご家族の精神的安定が図れるよう努めてきました。

平成21年度に引き続き、富士市障害者通所サービス利用促進事業（上限300万円）の送迎実績の達成、利用者の高出席率の維持、定員超過制度を利用し、定員を3名上回る利用者を受け入れる事で、収入の安定を図ることができました。

次年度は新事業生活介護事業での運営を予定しており、利用者様、御家族様には、従来通り安心してご利用頂けるよう確実な事前説明と情報提供を実施し、運営についてはサービスの充実を図る事で更なる利用率の向上を達成、安定した収入の確保につなげていきたいと考えている。

2. 利用者状況

障害程度別利用者数

療育 身障	重度 1~2級	重度 3級~	重度 なし	中軽度 1~2級	中軽度 3級~	中軽度 なし	なし なし	合計
	1	3	18					22

利用者年齢別 内訳

年齢	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	合計	平均
男	0	2	4	1	6	2	1	16	33.9
女	0	0	3	2	1			6	31.9
合計	0	2	7	3	7	2	1	22	33.2

A.D.L

障害程度区分

区分	自力	一部介助	半介助	全介助	計	区分	1	2	3	4	5	6	合計
食事	19	3	0	0	22	男	0	1	2	9	4	0	16
排泄	4	17	0	1	22	女	0	0	0	2	3	1	6
移動	18	3	1	0	22	合計	0	1	2	14	3	2	22
更衣	3	6	12	1	22								

I. Q

区分	測定不能	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	合計
男	8	1	4	1			1		1	16
女	5		1							6
合計	13	1	5	1			1		1	22

利用者状況

平成22年度

	在籍	利用人数	延利用人数
4月	22	22	439
5月	22	22	368
6月	22	22	470
7月	22	22	444
8月	22	22	442
9月	22	22	421
10月	22	22	426
11月	22	22	425
12月	22	22	389
1月	22	22	401
2月	22	22	407
3月	22	22	472
合計			5,346

平成21年度

	在籍	利用人数	延利用人数
4月	22	22	442
5月	22	22	378
6月	22	22	472
7月	22	22	464
8月	22	22	394
9月	22	22	389
10月	22	22	460
11月	22	22	399
12月	22	22	372
1月	22	22	397
2月	22	22	400
3月	22	22	451
合計			5,018

3. 年間行事実施報告

月	行 事 ・ 活 動
4月	椎茸狩り、運動・散歩、花見外出、誕生会、アロマの日、歯科検診、一日散歩 ① 運動・散歩（火曜・午後） 富士総合運動公園・広見公園・大淵公園 ② 多目的活動（木曜・午前） ラジオ体操、ストレッチ、ウォーキング ③ 音楽活動（木曜・午後） カラオケ ④ 衛生の日（木曜・午後） 爪・耳等の衛生面介助 ⑤ リトミック（金曜・午後） 音楽療法、機能訓練的活動 ※①～⑤は毎月実施した
5月	創作活動、アロマの日、施設外清掃、防災訓練、一日散歩、誕生会、運動・遊具遊び、バスドライブ
6月	バスドライブ、ビデオ鑑賞、誕生会、パン作り、アロマの日、一日散歩
7月	アロマの日、七夕、誕生会、バスドライブ、一日散歩
8月	夏祭り、プール活動、アロマの日、バスドライブ、誕生会 ビデオ鑑賞
9月	ビデオ鑑賞、健康診断、バスドライブ、アロマの日、誕生会、1日散歩
10月	開設記念行事、バスドライブ、アロマの日、誕生会、ビデオ鑑賞、運動会、一日散歩
11月	総合防災訓練、バスドライブ、誕生会、一日散歩、季節性インフルエンザ予防接種 アロマの日
12月	誕生会、ビデオ鑑賞、バスドライブ、大掃除・忘年会、アロマの日、クリスマス会 餅つき、新型インフルエンザ予防接種
1月	凧揚げ、蕪玉作り、どんど焼き、バスドライブ、初詣、防災訓練、アロマの日 新型インフルエンザ予防接種
2月	節分、バスドライブ、アロマの日、個別外出（こどもの国・シダックス・まかいの 牧場）、事業移行説明会
3月	雛祭り、健康診断、バスドライブ、防災訓練、アロマの日、ビデオ鑑賞

4. 作業内容

◆壁画作り【紙粘土製作】

各工程を用意し、利用者を選択して頂き、選択出来ない方には、職員にてレベルにあった行程に配置した。

- ① 牛乳パックの解体、適当な大きさにカットする。
- ② 表面のコーティングを剥がす（両面）
- ③ 芯に使われている紙を千切る。（粗く→細かく）
- ④ すり鉢等で、水に浸した物を潰し繊維を出す。
- ⑤ ミキサーにて更に細かくする。
- ⑥ 糊を混ぜ、型に詰め乾燥させる。
- ⑦ 乾燥した物に着色する。
- ⑧ 下絵に合わせて、同色の物をボンドで接着する。

その他の活動

1. 体力維持の為の運動・散歩（多目的ホール活動と外出先での散歩）を実施した
2. カラオケ、ビデオ鑑賞を実施した
3. 年間行事による遠足を実施した（親子遠足2回）
4. 希望的地別グループによる、個別外出を実施した
5. 開設記念、夏祭り等を実施した
6. 防災訓練を実施した
7. 誕生会を実施した

健康管理

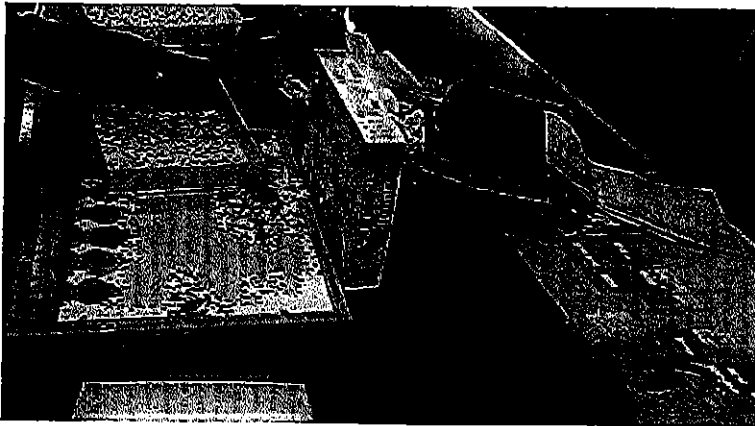
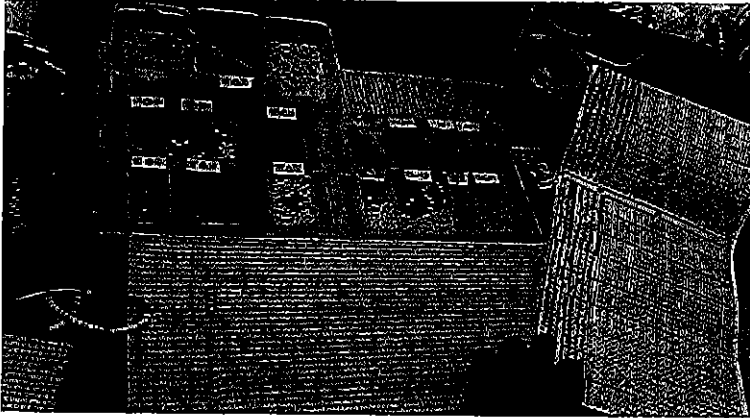
1. 爪、耳あか等のチェックの施行
2. 昼食、おやつ前の手洗い施行
3. 昼食後の投薬チェック、歯磨き施行
4. 毎朝バイタルチェック施行
5. 体重測定施行
6. 医務による定期検診、予防接種の施行
7. 排泄の施行（失禁防止）

保護者との付き合い

1. 毎日の連絡帳で、相互の意思疎通を図った
2. 行事への参加呼びかけ、保護者会や面談等の実施をした
3. 年末の大掃除実施にあたり保護者にも出席して頂いた（忘年会）
4. 1年間の行事を中心とした活動記録（写真）を個別のアルバムにして年度末にプレゼントした。

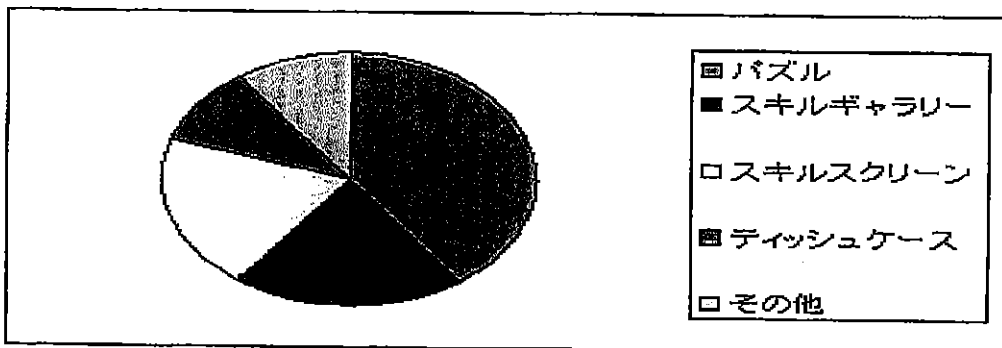
②創作的活動・・・材料の下準備補助、整合性確認、創作補助

ジグソーパズル、スキルスクリーン スキルギャラリー ビータッチアート
 ティッシュケース スタンドグラス ちぎり絵 絵描き ビーズアクセサリーなど



創作的活動		22年度	21年度
	総実人員	31	34
総延人員	1,860	2,045	

創作活動内容割合



③入浴サービス

状 況	男 性	女 性	合 計
自 力	0	0	0
一部介助	6	2	8
全 介 助	8	6	14
	14	8	22

・一般浴、機械浴を実施しました

④給食サービス

状 況	男 性	女 性	合 計
自 力	17	11	28
一部介助	2	1	3
全 介 助	0	0	0
計	19	12	31

・特別食をはじめ、キザミ食、普通食と各個人にあった昼食を提供しました。

⑤介護サービス

- ・日常生活を送る上での困難な動作の介護（着脱、食事、排泄、移動等）
- ・日常動作の改善のためのアドバイス

⑥送迎サービス

・リフト付車両にて、基本的に自宅玄関から施設までの送迎サービスを実施しました。

< 車両運行状況 >

	デイリフトバス	リフトバス	その他の車両
総運行日数	240日	240日	195日
総 距 離	18,531	16,220	
輸送実人員	30	25	10
延人員	1,159	1,184	347

3. 日課表

時 間	内 容
9:00	利用者 迎え
10:00	
10:30	バイタルチェック・ストレッチ体操・入浴サービス・創作活動
12:00	昼食
13:00	創作活動・運動
14:30	おやつ
15:00	利用者 送り

4. 利用実績

		22年度	21年度
機能回復訓練	総実人員	31	34
	総延人員	2,263	2,488
社会適応訓練	総実人員	31	34
	総延人員	2,263	2,488
厚生相談	総実人員	13	13
	総延人員	38	38
介護支援相談	総実人員	31	34
	総延人員	2,263	2,488
スポーツ レクリエーション	総実人員	31	34
	総延人員	2,045	2,045
入浴サービス	総実人員	22	22
	総延人員	1,421	1,397
給食サービス	総実人員	31	34
	総延人員	2,533	2,386
介護サービス	総実人員	31	34
	総延人員	2,533	2,488

5. 会議及び研修

富士厚生会定例会（1回／月）

デイサービス職員会議（1回／月）

くぬぎの里職員会議・現場研（1回／月）

くぬぎの里主任会議・行事打ち合わせ（1回／月）

指導員部会（1回／月）

在宅部会（1回／隔月）

代表者部会（1回／隔月）

6. 非常災害対策訓練の実施状況

非常災害対策訓練は事業計画にもとづき実施しました。避難訓練は毎月行いその他に初期消火・避難誘導・救急救護（応急手当・心肺蘇生）・夜間緊急職員召集訓練・職員火災器具操作研修の内より必ず1項目以上を行いました。

平成22年度 事業報告書

きぼうの里 短期入所事業

きぼうの里 短期入所事業

1. 事業実績報告

平成22年度きぼうの里 短期入所事業では、本体施設である入所更生施設の新事業移行準備に伴い、より充実した短期入所事業を実施することを目標として来しました。

利用者様、ご家族様のご希望を常に意識し、家庭内におけるトラブルからの緊急保護を目的とした利用や、ご家庭での生活が困難なってしまった利用者様の緊急利用など、困難な状況にもできる限り対応して来しました。様々な障害状況の利用者様に、安心して安全なご利用をして頂く為、利用者様の特性を理解しながらサービスの提供に努め、生活力、適応能力の向上にも力を入れ、ご家族様の負担の軽減、利用者様の人間関係の確立など在宅生活の援助にも繋がっています。

また、広報活動などを大切にし、各市・町、生活支援センター、他の短期入所事業所などとの連携も密にすることにより、新規の利用者様も増え、富士市外からの利用者様も定着し、多くの利用者様にご利用して頂くことができました。

2. 施設利用状況

- ア 年間利用者延人数 1,657 人
 イ 年間利用日数 365 日
 ウ 年間利用市町村 富士市、富士宮市、山梨県南部町

3. 月別男女別利用日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男性	85	94	97	114	111	101	107	100	115	105	106	107	1,242
女性	37	33	34	38	34	36	36	36	34	31	31	35	415
計	122	127	131	152	145	137	143	136	149	136	137	142	1,657

(年間稼働率90.8%)

4. 男女年齢別

年齢	男性	女性	合計
20歳未満	0	0	0
20～29歳	12	3	15
30～39歳	5	2	7
40～49歳	1	1	2
50～59歳	3	0	3
60～69歳	2	0	2
合計	23	6	29

5. 区分別

区分	男性	女性	合計
1	2	0	2
2	3	0	3
3	7	1	8
4	10	1	11
5	2	2	4
6	1	2	3
合計	25	6	31

平成22年度

事業実施報告

障害者地域活動支援センターきぼうの里

障害者地域活動支援センターきぼうの里事業実績報告

事業の実施に当たっては、利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立と生きがいを高める日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の支援を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消、及び身体機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図る。

以上を基本方針として、施設経営の見直し等を図り、さらにサービス向上をめざし、ご家族・利用者との信頼関係を構築し、希望ある、明るい未来を作りあげて行きたいと考えております。

1 利用実績報告

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日数(日)	21	19	22	21	21	20
登録者数(人)	25	25	26	24	24	25
月間利用者数(延べ人数)	354	339	396	362	352	371
月平均利用率(%)	84.3	89.2	90.0	86.2	83.8	92.8

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
20	20	19	19	19	22	243	+2
25	26	26	26	26	26	304	△8
361	373	361	354	351	403	4,377	+610
90.3	93.3	95.0	93.2	92.4	91.6	90.1	+11.9

2 利用者の状況《平成23年3月末現在》

①年齢別

年 齢	男	女
20歳以下	0	0
20歳～29歳	4	5
30歳～39歳	6	3
40歳～49歳	3	3
50歳～59歳	0	1
60歳以上	0	1
計	13	13

②受給者証程度区分

区 分	男	女
区分 S1	1	4
区分 3	9	9
区分 2	3	0
区分 1	0	0
計	13	13

3 事業内容

(1) 営業日 月曜日～金曜日 時間 9:30～16:00

(2) 年間行事実施報告

月	実 施 内 容
4月	花見遠足(原田公園)、歯科検診
5月	ショッピング(ジャスコ富士宮店)、保護者会総会
6月	利用者検便、ボランティア交流会(折り紙による壁掛け)
7月	七夕会
8月	きぼりの里祭り
9月	防災訓練、クッキング(お菓子作り) 定期健康診断兼結核感染接触者健康診断、
10月	運動会、富士市福祉作品展
11月	ボランティア交流会(写真立て)、開設記念行事 インフルエンザ予防接種
12月	クリスマス会
1月	新年会、どんど焼き、蒭玉作り、初詣(富士宮浅間大社)
2月	節分(豆まき)、クッキング(オムレツケーキ作り)
3月	ひな祭り、いちご狩り、定期健康診断
その他	送迎(2回/日)、健康チェック(1回/日)、給食(1回/日) 入浴サービス(月・火・木・金曜日)、体重測定(1回/月) 選択給食(1回/月)

4 職員研修

- ① 10月18日(月)～19日(火)
職員研修旅行(1名) 長野県方面
- ② 10月27日(水)～28日(木)
職員研修旅行(1名) 長野県方面
- ③ 11月22日
産業医研修「熟睡のこつ」(1名) ロゼシアター会議室
- ④ 11月29日
産業医研修「熟睡のこつ」(1名) ロゼシアター会議室
- ⑤ 2月28日(月)
職員マナー講習会(1名) 富士宮市民文化会館
- ⑥ 3月2日(水)
産業医研修「理想の食事」(1名) ロゼシアター会議室
- ⑦ 3月11日(金)
産業医研修「理想の食事」(1名) ロゼシアター会議室

5 実習生受け入れ

- ① 7月16日(金)
静岡県立富士宮東高校2名(男子1名・女子1名)
- ② 7月21日(水)
静岡県立富士宮東高校2名(女子2名)
- ③ 7月27日(火)
静岡県立富士宮東高校2名(女子2名)
- ④ 7月29日(木)
静岡県立富士宮東高校2名(女子2名)
- ⑤ 8月24日(火)
静岡県立富士宮東高校2名(女子2名)
- ⑥ 8月25日(水)
静岡県立富士宮東高校3名(男子3名)
- ⑦ 11月11日(木)
富士市立吉原北中学校3名(女子3名) 福祉体験

平成22年度

事業実績報告書

社会福祉法人 富士厚生会

受託養護老人ホーム

富士宮市立 長 生 園

富士宮市立長生園 事業実績報告書

1. 事業報告

富士宮市から委託、指定管理者施設を受けて8年経過し、安心・安全な施設作りを目指し、利用者の皆様への見守り、声かけ等に努めてまいりました。

前年の新型インフルエンザ等、感染症対応も利用者の方々への手洗い・うがい等の予防を徹底し、また面会者の方々にもご協力をいただき一人の感染者も出すことなく諸行事、地域との交流、小・中学校の生徒さんとの交流及び保育園児、ボランティアの皆様とのふれあい等々も実施でき、「ふれあい祭り」も盛大に実施して参りました。

職員、利用者の皆様と共に、防災等に対する訓練等を定期的の実施し、快適な施設、安心・安全な施設を目指し、日常生活の向上を継続して参ります。

2. 利用者の施設利用状況

ア. 年間利用者延人員数（利用率） 18,203名（99.7%）
（H22.4 ～ H23.3）

イ. 月別入退所数（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	5
退所	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	4
現員	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50

ウ. 外出（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	53	41	44	60	45	48	47	50	40	43	43	56	570
女	10	10	8	5	14	19	18	15	19	21	27	31	197
計	63	51	52	65	59	67	65	65	59	64	70	87	767

エ. 外泊（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3
女	3	3	1	2	2	1	0	0	2	3	0	0	17
計	3	3	2	3	2	1	0	0	3	3	0	0	20

オ. 面会状況（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	1	9	6	4	4	3	3	3	5	1	2	6	47
女	7	12	8	10	10	15	9	16	11	13	5	9	125
計	6	8	8	7	8	6	8	8	17	10	15	10	111

カ. 月別入院人数（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院者	2	3	2	1	2	5	6	6	7	6	2	4	46

キ. 措置機関状況（3月31日現在）

	富士宮市	伊豆の国市	牧之原市	計
男性	21	0	0	21
女性	27	1	1	29
計	48	1	1	50

3. ADL現況

ア. 移動状況(名)

自力歩行 (杖等使用含む)	歩行器使用	車椅子 自力	車椅子 半介助	車椅子 全介助
48	2	0	0	0

イ. 食事状況(名)

自 力	一 部 介 助	全 介 助
50	0	0

ウ. 給食状況(名)

常 食	荒 刻 み 食	刻 み 食	ペースト
29	20	1	0

エ. 排泄状況(名)

誘 導	紙パンツ (全日)	紙パンツ (夜間)	パット	おむつ 全日	おむつ 夜間
2	14	4	5	0	0

4. 月別実施報告書

月	行 事	概要、ボランティア等	参加人数	その他
4月	花見 たけのこまつり 講談慰問 防災訓練	大石寺(北の山駐車場付近) 山梨県南部町 神田陽子様他1名 避難訓練及び消防設備等職員 教育	26名 26名 50名	主任会議、職員会議、 給食会議、処遇会議、 感染症対策会議、運 営委員会、利用者全 体会
5月	やぶさめまつり 上野中にて地域交流。 八幡温泉 防災訓練	富士宮浅間大社 上野中にて地域交流。 演劇やカラオケ、温泉を満喫 防災ビデオ視聴	10名 6名 34名	//
6月	富士宮スポーツ会 防災訓練	市立体育館にて実施。 地震による避難誘導	16名	//
7月	夏ドライブ 慰問 防災訓練	富士山5合目 ひばりの会16名 夜間招集	15名 50名	

月	行 事	概要、ボランティア等	参加人数	
8 月	体操、フラ慰問 施餓鬼供養 市内小学生 防災訓練	Fit・A6名 善能寺住職による供養 ボランティア講座30名 火災による避難誘導	50名 50名 50名	主任会議、職員会議、 給食会議、処遇会議、 感染症対策会議、運 営委員会、利用者全 体会
9 月	総合防災訓練 長寿の祝い 上野区グランドゴルフ会 ぶどう狩り 踊り慰問 避難訓練	地区避難所へ避難(地域交流) 銭太鼓小田切様他8名 上野中にて地域交流。 山梨県御坂町。 8名 夜間想定	6名 50名 7名 32名 50名	//
10 月	長生園運動会 ふれあいまつり 防災訓練	屋内にて行う 上野小30名、北山小30名、 上野中25名 ジンジャーコーラス15名 ボイスオブシャローム5名 地震による避難誘導	50名 50名	//
11 月	バス遠足 防災訓練 産業医研修	清水区三保海洋博物館 火災による避難誘導	34名	//
12 月	地域防災訓練 作品展見学 クリスマス会 門松づくり 餅つき 忘年会 農民市場慰問 防災訓練	避難所である氏神さんに避難 シャロームにて作品見学。 東保育園慰問50名 立派な門松が完成。 餅つきを行う。 鍋パーティー。 新鮮野菜をいただく。8名 夜間想定	6名 14名 50名 6名 50名 50名 6名	//
1 月	初詣 どんど焼き 浅間大社節分慰問 新年会 防災訓練 静岡県指導監査	浅間大社で初詣 1年間の無病息災を祈願する 浅間大社宮司様他12名 芝川苑にて入浴、カラオケ 地震による避難誘導 書面監査	14名 21名 50名 28名	//
2 月	市作品展見学 節分 JA上野慰問 防災訓練 接遇マナー研修	市役所へ作品を見学 豆まきを行う。 女性部のそば慰問10名 火災による避難誘導	16名 50名 6名	//
3 月	桃の節句 防災訓練 産業医研修	餅つきを行う 地震による避難誘導	12名	//

※この他に毎月、クラブ活動の音楽・書道・読み聞かせ・踊り等と墓地清掃(2回)、
誕生会、カラオケ大会、ショッピングを実施しています。

5. 実習生等受け入れ状況

実習生受け入れ状況

期 間	日 数	人数	内容	学校名等
8/9~ 8/13	5日間	1名	介護体験	日本大学
11/9~11/11	3日間	4名	職場体験	富士宮市立第4中学校
2/7~ 2/11	5日間	1名	介護体験	常葉大学